



# 明 柔 2001

---

明治大学柔道部明柔会会報

# 明治勝つ！

## 第50回 全日本学生柔道優勝大会



勝利の瞬間



私の好きなものは  
この街にあります。

住宅ローンサービス株式会社  
代表取締役 杉原 構

東京都新宿区西新宿 6-12-7  
〒160-0023 ストークビル 609  
TEL (03) 3343-7000 FAX (03) 3343-7700

# 明治 16回 目の優勝



— 最多優勝 —



記録を更新 —

# 輝く阿武教子

## 世界三連覇なる



### 明柔(明治大学柔道部明柔会会報) 目次

卷頭言	.....	部長 百瀬 恵夫	1
「全日本学生柔道連盟」創立50周年を迎えて	.....	明柔会会長 神田 和夫	2
明柔会幹事長 高田 誠之助	3		
成績結果	.....		
第五〇回全日本学生柔道優勝大会	.....		
明治優勝	.....		
成績結果	.....		
【大会観戦記】	.....		
優勝(飯銅 泉 寺居)	.....	関 勝治	6
史上に輝く実績	.....		
平成13年主な大会結果	.....	前監督 重松 裕之	8
平成12年学生試合結果	.....		
新主将に棟田	.....		
世界3連覇の偉業「ひと皮むけた阿武の柔道」	.....	吉田 秀彦	15
世界選手権大会	.....	上村 春樹	16
恩師姿先生を偲んで	.....	渡辺 政雄	19
信念の人・葉山三郎先生	.....	押切 義春	19
Never stop! 歴史をふまえて	.....	岩崎 勇	21
柔道部の想い出とその時代背景	.....		

疾風に立つ

朝日新聞社 竹園 隆浩

神永 正夫

27

勲一等瑞玉章 古賀愛人氏受勳

「同期の集い」

珊瑚海（三十五年度卒業同期会から）

小林 忠吉

30

39年度同期会会幹事 坂口征一・鳥海又五郎

河田 恵吾

34

オーッと、忘れちやいやすよ、54年度卒同期会

35

みちのく国体明柔会 関西明柔会

37

明柔コラム 道場往来

38

近況報告 同行一人

40

『少年柔道と私』 稲関で頑張っています

41

明柔ゴルフコンペ

42

健康の話 学生のレポート

43

奨学金委員会より

44

新規記事をかりて

45

河田 恵吾

46

小川 登志雄

47

池田 亮

48

明柔ゴルフコンペ

49

マネージャー 濱本 義典

50

杉田 洋一

51

奨学金委員会委員長 杉原 構

52

平成13年度篤志会員

53

11月30日現在

54

計報

55

事務局便り

56

編集後記

57

部長 百瀬 恵夫

## 卷頭言

### 名誉博士を祝う会

部長 百瀬 恵夫

我らが敬愛してやまない講道学舎理事長横地治男先生が、モンゴル國の文化・教育・經濟の振興に長年尽力された功績を称えて、モンゴル国立大学、モンゴル体育大学の両大学から名誉博士号を授与された。

この受賞を祝う会が、去る十一月九日新高輪プリンスホテルで行われ、学舎生をはじめOBとその父母、関係者およそ三〇〇人が集まって盛大な祝賀会が開かれた。

ここに改めて「今までなく、わが柔道部と講道学舎との縁の深さは格別である。横地先生の明大柔道部に対するご支援に対して改めて心から敬意を表する次第である。

横地先生の「勝負は勝たないかん」というお言葉は、勝負の世界にあつては「負けたらあかん」という明快な答えるもつておられる。講道学舎は、横地先生と中山先生が、学舎生と一緒に居共にしながら、「柔道は心身の力を最も有効に使用する道である」という柔道の真髓を探究し、そのなかで人間形成をめざすという教育理念に基づくものである。

小学校を出てすぐに学舎の門をたたき、中・高の六年間寮学生として身を置く柔道愛好者といえども、親元を離れての修業は決して楽な道ではないだろう。早朝と夕刻からの稽古、昼間は弦巻中学と世田谷学園高校に通学する。横地理事長の良きパートナーとして、寮生のママとして学生のすべての相談に乗り、物心両面にわたって支えて下さっている方が、常務理事の中山美恵子先生である。このご両人の存在なくして、今日の講道学舎を語ることはできない。なるほど、学舎のOBで明大柔道部に所属した者は、全員すばらしい人物ばかりである。ここに横地先生の名誉博士の授賞を改めて明大マンと共に御祝い申し上げる次第である。



# 「全日本学生柔道連盟」創立50周年を迎えて

明柔会会長 神田 和夫

冒頭に柔道部に対する日頃のご支援に厚く御礼を申し上げます。

平成十三年も間もなく終わろうとしていますが諸兄におかれでは益々御活躍の事と推察いたします。



本年は戦後、学生柔道が復活して五〇周年にあたります。後輩たちはこの節目の年の大会を優勝で飾ってくれました。この快挙は吉田監督の指導力、それを受けた落合主将以下部員たちの精進の賜でありますがまた現役を支援する明柔会のバックアップも見逃すことは出来ません。

返り見て終戦直後、まだ戦災の跡も生々しい東京で戦地から戻ってきた各大学のOB学生を中心に学生柔道復活の活動がはじまりました。GHQ監視下の目をくぐつて何校かの学生がマットやタタミをかき集め稽古を始めたものです。一方では各校の代表がGHQに復活の嘆願活動も行いました。あれから半世紀、隆勢にある学生柔道の現在を見る時、当時の部員として、まさに感無量の思いです。空き腹をかかえて明大柔道部の復活に奔走していた先輩、同輩の若き日の姿がいま走馬燈のように蘇ってきます。今回の優勝を語るまでもなく学生柔道界における明大の存在は確固たるものであります。また、駿河ヶ台の道場に育った歴代のOBたちの活躍もまた学生たちに勝るとも劣りません。柔道の発展に明柔がいささかの関りを持つと密かに自負するゆえんで

あります。同じ金の飯を食う、という言葉があります。諸兄におかれでは若き日、また若いいま明大道場で汗を流したこと心の財産とし家族に接し、仕事にはげんばいただきたい。往時を偲びながら諸感じします。



明柔会幹事長 高田 誠之助

昭和26年「全日本学生柔道連盟」が結成され、今年で50周年を迎えた。その間、明大柔道部はその年の全日本学生選手権で金子先輩が個人戦を制し、翌昭和27年にスタートした第一回全日本学生柔道優勝大会にも勝利を修め、以来50周年とい

う大きな節目の今年、16回目の全日本制覇という素晴らしい金字塔をうち建てる事が出来た。何んと、ほぼ3回に1回の優勝である。

戦後の学生柔道が明大柔道部を核として発展し、ひいては我が国柔道界の中心的な存在として、その国際化にも大きな貢献を果たしてきた。

この輝かしい歴史は、その屋台骨を支えてきた歴代の部長、師範、監督はもとより、先輩、同輩、後輩が私の精神で継承し、発展させてきた明柔会の存在を外しては語れません。

現在の明柔会は、神田会長、渡辺副会長を頂いて、小林会報委員長、杉原奨学金委員長、関スカウト委員長、浜本事務局長、各学年幹事、地方支部幹事と鉄壁の陣容であると自負しています。

これからは、この50周年を節目として、多くの情熱に支えられながら、より開かれた明柔会の一層の発展に尽力する事を誓います。嘉納師範の遺訓「精神善用、自他共栄」の精神を心の糧として。：

# 明治優勝

## 第五〇回全日本学生柔道優勝大会



校歌齐唱



増村	落合	泉	棟田	古賀	保立	矢寄	明治	勝
○	○	○	○	○	○	○	(2)	
×	×	大外刈	体落し	小外刈	×	大内刈		
市ノ瀬	岩上	高井	深澤	鈴木	澤	高谷	国士館	
市ノ瀬	岩上	高井	深澤	鈴木	澤	高谷	国士館	

戦前の予想は國土館がやや有利、といつたが、明治は棟田、矢寄の活躍と大将増村のねばりで三年ぶり一六回目の優勝旗を獲得した。

優勝は大将戦に持ち込まれた。体重九〇kgの増村に対し、国士館市ノ渡は一三五kgの巨体、しかも全試合一本勝ち

のポイントゲッター、これを分ければ内容差で明治の優勝となる。増村にも「引き分けに持ち込まれれば」という気持ちがあつた。両者「指導」の後の開始一分、増村はいわゆる「かけ逃げ」をとられて「警告」をとられる。ベンチの吉田監督から「足を使つて攻める!」とギキがとぶ。リードした市ノ瀬は守りに入つて攻勢がとまる。後に増村は指示どうり足を使つて攻勢に出た。残り時間四四秒、審判が市ノ瀬に「警告」。そのまま分けられました。両チームとも引き分けとなりました。

## 【大会観戦記】

関 勝治



吉田監督は、40回大会の際に、主将として19年ぶり

を遂げ、

監督としては就任した年の47回大会、そ

して今回の50回大会と優勝を果たしてい

る。この節目節目に勝つ彼の勝負強さに

驚くのは私ばかりではあるまい。

私は入学して以来、数多くの明大優勝

れました。この胸のすぐ快挙は言うまでもなく、監督、助監督、コーチ達、そして選手が一丸となって厳しい稽古に打ち込んできた結果である。

主将の落合、3年生の棟田、矢嵩がボイントゲッターとしての責任を果たし、中量級の増村、保立、泉らが責める時は責める、守る時は守るという団体戦のセオリーに徹して戦ったチームワークの勝利でもあります。

特に國士館との決勝は大将戦の勝負となつたが、今年の全日本選手権に東京代表となり、本大会でも全勝で勝ち進んできた市ノ瀬選手に対し増村は、35キロの体重差を物ともせず見事に引き分けに持ち込み我々を感激させた。本当に手に汗を握る試合であった。

まさにラグビーで言う「One for all. All for one」[一人は全員のために、全員は一人のために]である。明大柔道部全員の勝利であるこの優勝を忘ることなく連覇に向けて頑張つてもらいたい。私も勝利の美酒に酔いしきましたが、今後

の明大柔道部の勝利に向けて明柔会の諸兄とともに側面的支援を怠らないつもりです。このたびの優勝も全国の先輩方のご支援があつたればこそと言えるからです。

現役学生に対する益々のご指導、ご支援をお願いし、簡単ながら観戦の感想といたします。

(39年度、JRA日本中央競馬会参与)



優勝祝賀会(於大学会館)

# 優勝 // 飯銅(100K) 泉(90K) 寺居(66K)

## 全日本学生体重別選手権大会(10・3・4 日本武道館)

学生個人体重別チャンピオンを決める選手権大会が十月三・四日、日本武道館で行われ、明大勢が大活躍した。

優勝数大学別 明治3、筑波2、

国士館1、東海1

本大会明治は優勝候補の棟田(一〇〇K超)と矢嵩(九〇K)を欠き(国際大会出場のため苦戦を予想されたが前記の三者が奮闘し七階級中三階級をとう)。

中でも四年生の飯銅は全試合に一本勝ち、一年生ながら優勝候補に上がつていた泉、春の全日本ジュニアに勝つてゐる二年生の寺居も共に下級生とは思われない安定した戦いぶりで優勝した。

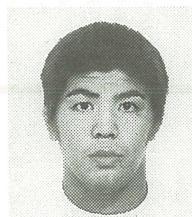
寺居はアジアジュニア大会、泉は韓国国際大会に出場する。



飯銅 崇晋



寺居 高志



泉 浩

# 史上に輝く実績——この十年と今——



前監督 重松 裕之  
(ト 第40回大会優勝)

あの時がターニング・ポイント  
（第40回大会優勝）

思い返せば十九年振りの優

勝に狂喜乱舞してしまった平成  
三年からキックアリ十年である。

だろうが、何度も反芻しても楽しい限りであるから重複を承知で記すと、この十年で明大柔道部は団体無差別で争われる優勝大会で優勝すること4回、準優勝3回である。平成十二年には新設された体重別団体大会でも優勝。この間の学生チャンピオン（体重別）は二〇名に余る。

この抜群の実績は明柔史上のみならず学生柔道史上においても燐然と輝くものであり、少ない部員数をはじめとする厳しい環境下で達成したものであることを考えると更に光を増す。ラバール他校のOB達の歴軌りが聞こえて来るようだ。

得意淡然もなかなか難いものである。さて、十九年振りの優勝を果たしたあの大会で文字どおり大

車輪の活躍をしたのが、現在学生を指導している吉田監督。秀

があつてはならない。

## 結実した快挙（第50回大会優勝と体重別団体制覇）

修行の足らない分際で「得意淡然」と語ったからには、「失意泰然」についても述べなければならないだろう。

十九年という長い失意期間のなかの四年間を私は学生として過ごした。お恥ずかしい限りである。たまに個人タイトルを獲得する者も居たが、団体優勝からは遠ざかり過ぎてアキラメムードがあつたことを否めない。

勿論、指導者の先生方やOB先輩諸氏は決して諦めずに様々な努力を払っていたことは承知はしていたが、肝心の学生達は失意に慣れてしまつたり失意泰然どころか「失意当然状態」に陥っていた。言い訳がましいが、勝利の美酒を味わつたことのない者に「信じられないくらいウマイんだからがんばれ!」と言つても、「ウマイんだろうけどなあ」と思うのが大半なのだ。これが「本当にウマイのかな?」となつてしまふと、眞の危機的状況である。

危機を打破したのは原吉美元監督であった。その情熱の熱さと指導の厳しさは広く知られているところであるが、當時一番身近に居た私が思ひ返してみても真っ先に浮かぶのは、「学生達はよく耐えたなあ」である。

當時、姿勢雄渾が見守る道場で、来る日も来る日も猛稽古が繰り返された。どの様な表現を使つても当時学生であつた諸

島助監督であることは存知のとおりである。歴史を語るに「もし」は禁物だが、あの大会でもし敗れていたら、明大柔道部の今はあつたであろうかと考えた。

あの時我々はただ喜びに浸つていただけではない。一つひとつの試合で何勝つことが出来たか、どうして敗れたかを冷静に分析した。チームとして何が足りて何が足らないのかも語り合つた。つまり、「また勝ちたい!」という強い意欲が創出されたのである。

「勝利への執念」と一口に言うが、その気持ちを持続させ結果にまで結び付けることは容易ではない。あの時に得たものは今や駿河台道場にシッカリと根付いている。

そして、あの優勝を機に柔道部と表裏一体である明柔会が更なる結束力を有する様になり、物心両面での支援体制がより強固なものとなつたことも見過してはならないだろう。

やはり、あの時がターニング・ポイントであったのだ。あの時に学生とOB達の皆が、改めて勝つことのすばらしきを、努力の尊さを、努力は多くの情熱によって支えられるこれを、強く学んだことが今日の「強明大柔道部」に繋がっていると思う。

吉田・秀島の両君は名選手であり、名指導者である。しかもまだ若く、これからまだまだ成長すること間違いない。われわれOBもうかうか出来まい。

得意淡然たる修行をすつと続けるためにも、後方支援に怠り

君から、「そんなもんじゃなかつたッス!」と叱られそうなので具体的な記述は避けるが、学生達の間に「ここまで苦しい稽古をして来たからには、絶対に勝ちたい」という気持ちが芽生えたのは間違いない。

失意当然状態なぞ許されるはずもなく、あの当時は失意猛烈な失意の原因と猛然と戦うの意)であった。

さて、その後原先輩の後任監督となつた私は私なりに姿師範や多くの方に支えられて監督業を務めたが、凡人なるが故にヘトヘトになつてしまい、若い吉田君にバトンを渡した。

退任した折に会報「明柔」紙上に「これから明大柔道部」と題して幾つかの提言をさせて頂き、その後幸いにも実現したものも多いが、大変うれしい誤算もあった。

当時の原稿を引き写すと、一部員数だけから判断しても、全ての階級強化と団体戦を前提とする無差別級強化の両立は至難の技である。…略…強化目標の絞込みを行う必要がある」とある。

吉田監督と秀島助監督はこの至難の技をやつてのけた。体育学部を有して多くの部員を抱える大学の強い希望を背景に新設された体重別団体大会において、大方の予想を覆して見事優勝したのである。明大柔道部の近年の環境下にあって、これがどう程の離ればれ業であるかはOB諸氏ならご理解頂けるだろう。不<sup>明</sup>を詫びつつ、快挙を喜びたい。

さて、第50回大会の優勝も記憶に新しいが、この優勝は学生達の戦いぶりも見事であつたが吉田監督の采配も光つた。選手オーダー提出のたびに監督・助監督が顔を付き合わせて戦略を

練つている頗もしい姿を見守る機会に恵まれたが、両君を多く見る思いがした。

吉田監督のオーダーは攻めの姿勢が貫かれていたが、それは選手達への信頼に裏打ちされている。信頼に応えた選手諸君に改めて拍手を送り、さらなる精進を期待したい。

当日、優勝監督へのインタビューを終えた新聞記者から思いも寄らぬことを聞かされた。感想を尋ねられた吉田監督が、「前回

(3年前)の優勝は重松前監督から預かった選手で優勝させて貰った。今は自分で集め育てた選手で勝てたことに違つた感激がある」と述べたということであった。

現役選手であった吉田君へバトンタッチしたことによる罪悪感を抱いていた私にとって望外の言葉であった。「ボクも成長したもんだ」と笑いながら、鼻の奥がジンとしてしまつた。

まつたく、得意淡然は難しい。

## 番外編　— 第50回全日本学生優勝大会観戦記 —

先鋒：矢寄

「次的世界代表として評価は高い。稽古に取組む姿勢、実力ともに大変よろしい。故に、たまにしか稽古に来ない前監督が言うべきことはない」と考えアドバイスをしたこともない。しかし、決戦時には目があつたので「突き刺して來い!」(注：骨に突き刺す様に投げる意)最近の若い選手が良く言う」と言つてし

今回限りにする様に。」

中堅：桜田

「言わざと知れたポイントゲッター。学生で世界代表。しかし、痛めた膝の調子は相当悪かった様子。准々決勝では不覚の引き分け。秀島助監督に厳しく叱られていた。(俺の膝と取替えてもやりたい程だっただけど、そんな物もと要らないよな)準決勝・決勝ではキツチ一本勝ちはサスガ。世界を獲るまで戦しない道筋だらうが、がんばれ! 押しも押されぬ眞のチャンピオンになることを切に願う。」

五将：落合

「親父さんは気合の入った漁師さんで、9人兄弟の末っ子らしい、並み居る講道学舎出身の中でも光を放つ筋金入りの根性は、親父さんのDNAか。決勝では高校時代からのライバル高井選手に惜敗したが、内容と氣迫では勝っていた。一年生ながら中心選手として見事な働きぶりだった。監督・助監督から技の切れと勝負根性を更に引き継いで、大成して貰いたい。その太い眉毛と根性を大事にすれば前途洋洋と見た。」

副将：古賀

「決勝はお前が勝つて決めろよ」と、言いたくなるのは稽古での実力と日頃のキャブテンシーを知っているから。特にキャブテンとなつてからは率先垂範して稽古に励みチームを良く引

まつた。でも、「KOして来ます!」はないだろう。プロレスじゃないんだぞ。でも、開始早々25秒で突き刺してしまうなんて頗るヤツだろ。でも、ガツツボーズが派手過ぎだ! 渡辺政先輩に叱られちやうだろ!(思つたとおり後刻道場で小生がお小言を頂戴した。注：目は笑っていたけど)でも、これでチームが盛り上つたのは事実。頼れるポイントゲッターとして良くやつた。」

次鋒：保立

「小兵だし、顔はジャガイモなのに、キビキビと元気に堂々と良く戦つた。試合前の控え室で緊張している様子だったのに、お前さきからチャンチンのところばかり搔いてんじゃないよ」と言つたらへと笑つた顔も良かつたけど、表形式の後、貰った賞状を誇らしげに掲げながら待ち受けるOB達に向かって飛び跳ねながら駆けて来た笑顔は、本当に可愛くてすばらしかつた。顔はジャガイモなのに、不思議だ。」

三将：古賀

「一浪してまで吉田監督率いる明大柔道部に入りたかった苦労人。その割には性格も柔道も優し過ぎてイカン。でも、准々決勝・準決勝と堂々とした強気の柔道が出来た。決勝戦は堂々としていた割にはあつさりと一本負けしたけど、優勝が決まつた瞬間に一番大きな声で、デッカイ口を広げて大泣きしたのも見逃さなかつたぞ。来年はお前が勝つて優勝を決めろ。強さを兼ね備えた好漢になれ!(杉原先輩にキヤスイことを言うのは

つ張つて来た。4年間で団体優勝を3回も経験するなんて羨ましい限り、そぞらんのメダリストより威張れるぞ。今後も精進を重ねて全日本選手権で武道館を湧かせて欲しい。」

大将：増村

「高校時代は強かつたくせに大学に入つてこれといつた実績がない明治としては珍しいヤツ。昨年は団体メンバーからも外れ、オーダーを見た時には正直、こいつで大丈夫か? と、思った。決勝戦では誰しも「捨て大将」と考えていたはず。イヤー、不明を詫びる。失礼しました。本当に良くがんばった。最高です。あの場面あの相手で、あの引き分けはナカナカのものだ。一躍、明柔の歴史の中でも語り継がれる団体戦ヒーローになつたなあ。ところで、優勝旗を振り付けの小道具にして「優勝の歌」を歌つた気分はどうですか?まさか練習していた訳ではないよな?」

（昭和58年卒業　JRA勤務）

なつた。募集人数は初年度一二三名、以後毎年加算され最終的には五一一名になる

かねてから望まれていた予定、全体会員数を考慮の奨学金制度が開設され、えれば狭き門ではあるが来年度から実施の運びと制度の開設を喜びたい。

# 平成13年主な大会結果

# 平成 13 年主な大会結果



## 新主将に棟田

主 将 棟田 康之(法)  
副主将 矢崎 雄大(経営)  
世田谷学園高校出身  
愛媛県出身

主 将 棟田 康之(法)  
副主将 矢崎 雄大(経営)  
世田谷学園高校出身  
東京都出身

主 将 杉田 洋一(政経)  
副主将 矢崎 雄大(経営)  
世田谷学園高校出身  
東京都出身

# 世界3連覇の偉業 「ひと皮むけた阿武の柔道」

吉田 秀彦



阿武が世界選手権3連覇という快挙を成し遂げたが振り返ってみて試合内容

は今大会が一番充実安定していたといえる。オリンピック同様各国のトップが顔をそろえている本大会の内容を考えれ

ば、改めて実力がついたことを感じながら観戦した。

阿武は高校時代から国際大会の常連となっている事から、既にベテラン視されている面もあるようだが、シンド二の不調がうそのような試合振

りを見て、うちに阿武の総決算はまだ先にあるとい

う気を強くした。この好調を維持するのではなく、もう一段の飛躍を望みたい。(ベテラン的氣分にならない事)

多少技術的なことをいえども、と多彩な技を持つている選手なのだが、技の一つについに重みがついてきたこと、前技から大内刈、小内刈、小外刈の連絡、またこの逆、

組際の大内刈の型が阿武流のものになりかけているといふ事であろうか。

いずれにしてもシンド二であの金縛りにあったような敗戦が今回的好調とどうしても結びつかない。死んだ子の年を数えても始らないが、精神力を養う必要はあるだろう。次のオリンピックの金メダルを期待して観戦の感想とする。

尚、男子無差別級に出場した棟田は、6月の怪我による稽古不足がそのまま結果に出たのだが、とえ体調十分であつてもどうであつたろうか。良い経験をしたのではないか、今後チャンスがないのではないかと考えている。人材不足といわれる日本重量級のリーダーの自覚を持つてもらいたい。本人もその気

本 社 〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2 八丁堀ビル  
TEL.03-3553-7201 FAX.03-3553-7235  
横浜営業所 〒221 神奈川県横浜市神奈川区反町4-37-3 ベルハウス横浜反町1103  
TEL.045-312-8244 FAX.045-312-8247  
千葉集配 〒277 千葉県東葛飾郡沼南町藤ヶ谷新田字大佛44-1-3  
センター TEL.0471-93-1651 FAX.0471-93-1651

採石加工所 国 内: 岐阜、長野、山梨、山形、群馬  
国 外: 韓国、中国



を通してこれからの都市空間を考えます。

(社) 日本公園施設業協会会員  
(財) 日本造園修景協会会員  
(社) 日本造園コンサルタント協会賛助会員

田 誠之助  
高 渡 昌正  
辺 照俊  
田 正俊  
工務部次長

代表取締役 高 渡 昌正  
専務取締役 田 誠之助  
照 俊

# 世界選手権大会

全柔連選手強化委員長 上村 春樹



2001年世界柔道選手権大会は7月26日から29日の4日間、ミンヘン市のオリンピックホールで、88の国や地域より55名の参加のもと盛大に開催された。

日本代表選手は4月の男女

それぞれの全日本選手権大会後に全ての選手を決定し、大会までの2ヶ月半、コーチ・選手一丸となり国内外の合宿、個別分散合宿と精力的に強化に取り組んできた。当初、怪我や調子を崩し心配された選手もいたが、最終調整合宿時にはほとんどどの選手が本来の調子に戻ってきた。ただ、7月13日に女子の大黒柱である田村が右膝を痛め、調整練習・トレーニングも全く出来なく出場さえも危ぶまれる状態で心配された。

日本選手団は7月21日に現地入りし、ホテル近くの柔道場を日本チーム専用に借り、同行した研修団を相手に最後の仕上げに取り組んだ。心配された田村も3日目ぐらいうち打ち込み、軽い投げ込みを開始したが本来の動きとはほど遠い状況であった。しかし、ほとんどの選手は、気合十分で順調な仕上がり

を見せ大会に臨むことが出来た。

大会初日、100kg級の井上は、必要以上に組ませない相手に苦

労はしたもの、シンドニーストライプ輪に続き全て「一本」勝ちで見事二連覇を果たした。

78kg級の阿武は、終始先に攻める積極柔道で

徹底して安定した内容で危げなく価値ある三連覇を達成した。

100kg級の篠原は、調整も上手く行きシンドニーストライプ輪

を待たず、「三回戦でミハイン(ロシア)に開始早々の隅返りで

もやの「一本」負けにより銅メダルに終わってしまった。

78kg級の薪谷は、良く頑張り決勝に進出したが、ユアン(中国)に敗

れましたが、金メダルとなつた。金一個、銀一個、銅一個のまますますのスター

トをきる。

二日目、70kg級の上野は、三回戦の際どい勝負を良く凌ぎ「づ

き」を自分に引きつけた。

最大の山場の準決勝のウエルブルグ戦もボイントを先行されながらも、逆転の見事な外刈りで「一本」勝ちで下し金メダル

を手中にした。63kg級の谷本は、敗者復活戦で良く頑張り銅メ

ダルとなつた。90kg級の飛塚、今回より階級を上げた81kg級の

中村兼は、旧ソ連圏の変則パワーロードで金メダルを獲得した。

中村兼は、旧ソ連圏の変則パワーロードで金メダルを獲得した。

かずメダルを逃がした。

三日目、73kg級の金丸は、準決勝まで全て「一本」で勝ち上が

り、決勝のマカロフ(ロシア)戦では死闘を演じ、最後まで場内を

湧かせたが力つき銀メダルとなつた。しかし、金丸の早い動きか

らの攻めは将来に希望が持てるものであった。進境著しい57kg

級の日下部は、シンドニーストライプ輪以降国内外の試合で負け知らずで

かずメダルを逃がした。

その結果、女子は金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル2個

とよく頑張ったが、男子はシンドニーストライプ輪後の選手の新旧交代の時期とも重なり、また旧ソ連諸国の変則パワーロードに苦戦を強いられ、金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル2個と厳しいものとなり、日本柔道の成績は金メダル4個、銀メダル2個、銅メダル4個となつた。当初、会員がメダル獲得、4個の金メダルは死守し、1~2個の金メダルの上積みをとの目標に臨んだ大会ではあつたが、残念ながらその目標には達しなかつた。

しかし、今回の世界選手権大会を見ても分かるように、世界柔道のレベルは全世界的にまた1ランクアップしてきた。それは、

金メダルの獲得国が10ヶ国、メダルの獲得国が25ヶ国と増えたこと、また今回初めてアフリカ大陸(チュニジア)、中近東諸国(イラン)が初めて金メダルを獲得したことでも証明される。この傾向は益々進んでくることが予想され、今後日本柔道が苦戦させられるのは必至である。だが、メダル分散が進もうが、パワーロード・変則柔道がはじこころうが柔道創始国の日本柔道は勝ち続け行かねばならないと言う宿命がある。今回、金メダルを獲得した井上・田村・阿武・上野選手らに一樣にいえることは、確実な組み手を持ち、きちんととした体捌きが出来、一事取る技を持ち、最後まで攻め通すスタイルナマがあり、さらにどんな状況下でも自分が柔道が出来る逞しさを持つていたことである。今後、我々としてはどんな状況下でも戦える逞しい選手作りを目指し、今まで実施してきた国内外の合宿や遠征を抜本的に見直し検討し、より効果のある強化策をきめ細かに粘り強く、一丸となつた。

金メダルが期待されたが、準決勝でよもやの「一本」負けを喫し、銅メダルに終わつた。調子が良かつただけに悔やまれる。世界五度目の挑戦の66kg級のペテラン・中村は、パワー柔道を捌げずメダルを逃がした。52kg級の横沢は、世界初挑戦で良く健闘したが、準決勝でケー北朝鮮の厳しい組み手、三位決定戦のベルデシア(キューバ)の掛け逃げぎみの攻撃に対応できずメダルに届かず。

四日目、膝の怪我を推して五連覇を目指す48kg級の田村は、一回戦から慎重に試合を進め、ペテランらしくチャンスを逃がさない上手い攻めで準決勝まで全て「一本」勝ちで勝ち上がつた。決勝ではリー(北朝鮮)と激しい組み手争いとなり、全く技での戻し戦闘となつた。ラスト一分田村が攻勢に出でタイムアップ。旗判定は2対1となり田村が厳しい戦いを制し前人未到の60kg級の世界選手権五連覇を成し遂げた。一方、絶好調で臨んだ60kg級の徳野は、安定した試合内容で準決勝へ進んだが、ルニファ(チニジア)に有効2つを先取しながらも逆転の裏投げで「一本」負けを敗退した。また、敗復もモラ(ドイツ)を改めきれず判定を奪われメダルに届かなかつた。シンドニーストライプ輪では銅メダルを獲得した女子無差別の山下は、今回はなかなか燃えるものが無く攻守がかみ合わず、元気なく結構敗復も「一本」負けで敗れてしまつた。

大会初日、100kg級の井上は、必要以上に組ませない相手に苦労はしたもの、シンドニーストライプ輪に続き全て「一本」勝ちで見事二連覇を果たした。78kg級の阿武は、終始先に攻める積極柔道で、心配された選手もいたが、最終調整合宿時にはほとんどどの選手が本来の調子に戻ってきた。ただ、7月13日に女子の大黒柱である田村が右膝を痛め、調整練習・トレーニングも全く出来なく出場さえも危ぶまれる状態で心配された。

日本選手団は7月21日に現地入りし、ホテル近くの柔道場を日本チーム専用に借り、同行した研修団を相手に最後の仕上げに取り組んだ。心配された田村も3日目ぐらいうち打ち込み、軽い投げ込みを開始したが本来の動きとはほど遠い状況であった。しかし、ほとんどの選手は、気合十分で順調な仕上がり

て取り組んで行かなければならぬと覚悟を新たにする次第である。  
最後に、日本代表選手の合宿や世界選手権大会時にお世話になりました皆様、また応援して下さいました皆様に心より感謝申し上げ総評と致します。 (旭化成工業株 昭和47年度卒)

## 企画力、技術の生かされた印刷

- PR関係美術印刷
- 事務用印刷・ビジネスフォーム印刷
- 出版関係印刷
- ポリエチレン・ポリプロピレン各種印刷
- 製袋・加工、各種加工成型、シール印刷加工



有限会社 渡辺欣勝堂  
代表取締役 渡辺 欣嗣

神田営業所 101 東京都千代田区神田三崎町2丁目21番10号  
渡辺ビル4F 電話 (03) 3262-4635(代)  
本社工場 115 東京都北区浮間3丁目5番28号  
電話 (03) 3967-9317(代)

## Never stop! 歴史をふまえて

### 学生柔道復活五〇周年に思う (信念の人) 葉山三郎先生

押切 義春



柔道大会で明治大学が優勝し、定期的な門出を飾つことである。  
爾来、明大柔道部は日本柔道界にその名を誇る屈指の名門として優れた人材を育々み社会へ送りだしてきた。

次いで第二は戦後の復興期のことである。

葉山先生はわが明治大学柔道部の大先輩であり、戦前の学生柔道界を代表する逸材として栄光に彩られた名選手であった。先生は戦後、明治大学の行政の座につかれ、大学体育の全般を司どる体育課長として学生体育の向上や体育会各部の復興に卓越したリーダーシップを発揮されていた。又、その時期、先生は監督としても姿師範と共に敗戦による食糧難や困難な練習環境に立ち向かい、「苦労を重ねながら指導を続けてこられた。

明大柔道部の伝統を語るなかで特徴的な歴史認識として次の二点をあげることができる。その第一は大正12年、東京で初めて学生柔道連盟が結成され、これを記念しての第一回、大学

柔道家としての葉山先生は学生に対し、技の理合いで一本とする柔道にこだわるよう慧眼を示され、その目標は大変厳しいもの

である。昭和27年、ようやく復活した全日本学生柔道優勝大会で、わが明治大学は3連覇を遂げるなど優勝回数を毎年のようによ更新し、戦前の先駆者が築かれた輝やく伝統を時代をこえて共有し始めた。

これらの快挙はその時々の選手の素晴らしい活躍によるものだが、その晴れ舞台に立つことを可能にしたのは葉山監督と姿師範による秀れた指導力そして学生柔道への熱い心であり、兩先生の生涯をかけての献身的な功勞は計り知れない。

昭和29年、私は山尾主将のもとで主務(マネージャー)を務め、葉山監督の居る体育課長室へ伺うのが日課となっていた。葉山先生は学生に対し、技の理合いで一本と



新日本プロレスリング㈱  
代表取締役 坂口 征二  
〒106 東京都港区六本木6-4-10  
TEL 03-3405-3111

FASHION SHORTS PILOT HOUSE

株式会社 アイリス

代表取締役 佐々木充行  
(41年度卒)

東京 〒101 東京都中央区日本橋久松町13-5  
和孝第6ビル5F  
TEL (03) 3667-1666 番  
テレファックス (03) 3667-1668 番  
本社 〒779-36 徳島県美馬郡阿南町大字阿南町102番  
TEL (08835) 2-1138 番  
大阪 箕面営業所 〒541 大阪市東区安土町1-22-1  
プライムビル3F-302 4F-402  
TEL 06-264-6285 番(直通) 10



学生柔道連盟復活の経緯は学生柔道30年の歩み(S56.5.1)発行に詳細に掲載されており、当時の関係者のみなみなならぬ苦勞が窺い知ることができる。

連盟結成の目的は、柔道の理想のもと、広い視野に起ち、組織化を図り、教育的な諸目標をかかげ、日本柔道界に貢献するものである。

この様な時代に吾が明治大学柔道部は遅早くクラブ活動として(S21)スタートを切り柔道部復活の基盤を他大学に先駆け築いていたのである。

柔道クラブ再生のスタートは現明柔会会長神田先輩が学生柔道30年の歩みに「血と涙の明柔会史」詳しく述べている。

このように戦後から目ま苦しい変遷をへて、大学柔道が復活したS26年春待望の柔道部へ入部することができた。

#### ◎姿先生との出会い

S26年2月、私が福岡県小倉市に在住中に柔道を指導していただい

た恩師田淵先生の推薦を得て、同門の今は亡き河辺さんと二人

大学受験に上京したときが姿先生との初対面でした。

当時の柔道部は、金子・神田・曾根・諸先輩等名立たるメンバ

ーが揃っており、その諸先輩を相手に稽古を付けておられたのが姿先生であった。

道場全体に籠った気迫とその雰囲気の一瞬戸惑を覚え、これは大変なところにきたと云うのが正直な気持でした。

無事河辺さんとともに合格通知を受け、春3月、田淵先生の

#### ◎姿寮の発足(S26・10)

寮の所在は市川市若宮(元日(通称競馬場正門前)一歴とした一軒家で河辺さんと二人では十分な広さでした。

この寮は当時中山競馬場で調教師をしておられた鈴木信太郎さんの所有で、姿先生が無理を云われお世話いただいた経緯があります。

寮のスターに当り姿先生から特別な指示等全くなく河辺さんと二人の自主性に任されていた。

在寮中は競馬場場内に新設された柔道場で月・水・金の週3日間、競馬場関係者に柔道を指導する楽しみがあった。(競馬場今後の柔道場は中山競馬場が始めてで、道場開きのときには姿先生の恩師三船十段が出席され、古式の形を披露されたことを記憶している)。

当時は先輩とともに部員一同先生のご好意で競馬場のアルバ

#### イトをしていた。

開催日は土・日・祝日で条件としては最高の待遇を得ていた。これも姿先生のご配慮があつたものと感謝しております。これ

に反し私どもの勤務状態はあまり褒められたものでなく、姿先生にご迷惑ばかりお掛けしたようです。

姿寮は競馬場正門前と云うことで、諸先輩の休息場所となり

出勤後も引きつづき定時までお休みの先輩もおられた?。何時

だつたかたまたま姿先生の目に留まり諸先輩の戸惑と慌ててよう

はいまだに脳裏に鮮明に残っております。そのとき先生が一言

「ウン、チエー」と云われ立去られたのが印象的でした。

4年間の寮生活ではこの外いろいろありましたが紙面の都合割愛させていただきります。

その後特別寮生として柔道部としては珍しくも白帯の塩見さん、松岡さんと狭いながらも仲間が増え充実した学生生活を送ることができました。

姿寮はその後先生の高潔な人格を慕い入寮者も増加の一途を辿り、日黒の合宿所の完成期に閉鎖されるまでつづきました。

今振り返ると姿寮での経験がその人の人格形成に大いに影響し役立ち、その後の社会人としての活躍を見れば判然としている。

紹介で渋谷区三軒茶屋の佐藤金之助先生(九段)の道場にお世話になった。先生は戦前昭和の天覧試合等で勇名を馳せ、第一回東西対抗東軍の主将として出場された。田淵先生は学生時代この道場で師範代を務めていた。(都内でも有名な道場で稽古相手にも恵まれ環境は申し分なかつた。その内道場の都合で他に寄宿先を尋ねればならない事情ができ困惑しているとき、姿先生にご相談したところ種々ご配慮いただき、又とない好条件の第一歩を踏み出すことができたのです)。

姿寮の発足(S26・10)

寮の所在は市川市若宮(元日(通称競馬場正門前)一歴とした一軒家で河辺さんと二人では十分な広さでした)。

この寮は当時中山競馬場で調教師をしておられた鈴木信太郎さんの所有で、姿先生が無理を云われお世話いただいた経緯があります。

#### ◎結びに

人間にはその生涯に人生の節目となる転機が数多くある。私の場合小倉での田淵先生との出会い、姿先生との出会いが一番

平成13年11月15日

(昭和29年度卒)

合掌

# 柔道部の想い出とその時代背景

渡辺 政雄



私の過ごした学生時代（S26年4月～30年3月）は、戦後の復興途上期から、最早や戦戻では無いと言はれるまでになった日本の正に激動の四年間。そして学生柔道が復活し、明大柔道部が破竹の勢いで勝ち進んだ黄金時代。

私にとって、「この時代だけしか体験出来ない、貴重で充実した四年間だった。たゞ、

当時の柔道部の戦歴は別項で紹介されると思うので、こゝでは自分の生活を中心に一番苦しく切実だった事と、今でも強烈に印象に残っている事を紹介する。

貧しく、苦しい時代だったが、時の流れはその苦しい想い出を水に流し、今では、総てが楽しく、懐い想い出に変ってしまった。

昭和25年6月に勃発した朝鮮戦争、米軍特需で戦後の復興に弾みがついたが、世の中の貧しさは一向に改善されず、生活苦から人身売買が深刻化していた。

一、貧しく、食べられなかつた時代（S26年～）  
昭和25年6月に勃発した朝鮮戦争、米軍特需で戦後の復興に弾みがついたが、世の中の貧しさは一向に改善されず、生活苦から人身売買が深刻化していた。

下車駅で一休みして帰宅する事も屢々あった。今的学生には想像も出来ないことだろう。

## 二、アルバイトと謝礼（報酬）

空腹を癒すことが一番の難題だったが、小使いを稼ぐ事も一苦労だった。私の家は、安サラリーマン家庭、従つて父親の方針は、学費は出すが小使いは自分で稼げだった。止むを得ず良く働いた。

一年生の夏休みのアルバイトは八百屋のリヤカーオー引き（車の普及はS35年以降、強くなりたい一心で、リヤカーオー引きで腰の強化を願つての事、卸売市場（通称ヤツチ市場）から野菜を積んでの運搬、夏場は水瓜の季節、水瓜を山積みしてのリヤカーオー引きは、大変な労力が必要で腰の強化になつた事を確信している。その謝礼は水瓜一個の現物支給だったが、家族で食べられるのが喜しかった。

S27年以降（2年生）は柔道で少々はあるが錢が稼げる様になり、四年生には講道館の研修生となり安定した收入が得られるようになった。芸は身を助くを地で行つた。

先ず27年から話を進めよう。前項で触れた朝鮮戦争が長引いて、日本の各地に米軍が駐留しており、そのG.I.慰問の為、芸能プロダクションがアレンジして、柔道・空手・居合・ボクシング・ジャズバンドにストリップまで一團でキャンプ地を巡回慰問した。この時の謝礼の額は忘れたが、柔道軍独自でキャンプを

S26年4月には、戦中から続いていた米の配給制度が廃止され、米屋が民営化されたが、一般家庭では、未だ／＼一日、一日をどう食べて行くか、切実な問題だった。

具体的な例を紹介しよう。

私の入学時の主将・金子先輩の話、出身は、九州天草、夏休みに帰省したくも汽車賃が無く、当然汽車賃が無いくらいだから食糧にも事欠き、只で食事が出来る所を探したのが警察、当時、桜田門前の警視庁に機動隊が駐在、午前10時から稽古がある事を知り、道場に出かけ、稽古指導、指導後隊員と昼食をする事で一日の主たるエネルギー源としていた。

当時のメニューや、麦飯に豚汁、漬物、一汁一菜正にこの言葉通りの食事だった。私は東京に住んだので、先輩から声をかけられお供をさせられた。一年生には、機動隊の猛者相手の二時間の稽古は厳しく、疲れ果て、食事は、先輩の様に喉を通らなかつた。

東京に住む親友の欣嗣（渡辺）が居る。彼とは、講道館時代からの交合いで、在学中も金魚の糞の様に常に行動を共にした仲、親元から通学出来る恵まれた境遇だったが、昼食は、弁当箱には米飯のみ、学生食堂でカレーパンを買い、そのカレーパンに弁当の米飯を入れたもの、米飯が多いのでカレー味のするカレーライスが常食で、毎日食べて顔が黄色くならないと笑つたものだ。

当時、大学の稽古時間は午后3時～5時、終了後連絡がかかる事で一日の主たるエネルギー源としていた。

東京に住む親友の欣嗣（渡辺）が居る。彼とは、講道館時代からの交合いで、在学中も金魚の糞の様に常に行動を共にした仲、親元から通学出来る恵まれた境遇だったが、昼食は、弁当箱には米飯のみ、学生食堂でカレーパンを買い、そのカレーパンに弁当の米飯を入れたもの、米飯が多いのでカレー味のするカレーライスが常食で、毎日食べて顔が黄色くならないと笑つたものだ。

当時、大学の稽古時間は午后3時～5時、終了後連絡がかかる事で一日の主たるエネルギー源としていた。

## 三、娛樂

NHKのテレビ放送が始まつたのがS28年2月、従つてS26年27年の頃の楽しみは、映画しか無かつた様に思う。私が當時、

柔道一直線で柔道以外、興味が無かつたので映画しか思いつかないかも知れない。

その映画も正月二ヶ日しか見なかつたのだが、二年生(?)の時、お茶の木駅近くの旅館を借りて合宿した際、夕食后欣嗣と二人、宿を抜け出して見たローマの休日。主演のオードリー・ヘップバーンの清純な演技、その時から彼女のファンになつた。

テレビ放送が始まつてからは、相撲・プロレスに熱中したが、当時、相撲は柄・若(初代)が脚光を浴び始めた頃、プロレスは、力道山・木村対シャープ兄弟のタッグマッチ、庶民私モハ街頭テレビに釘付けだった。(一般家庭にテレビが普及したのはS35年以降。)

プロレスで忘れられない悔しい想い出がある。S29年12月、日本初のプロレス選手権が蔵前国技館で行はれた。力道山対木村政彦、相撲対柔道の対決として世の中は湧いた。私もこれだけは是非見たいと思ったが入場料が高く(600円)諦めかけていた所、後輩の丸山君の計らいで無料入場させてもらつたが、試合の結果は、力道山の空手チョップと膝蹴りで木村選手のドクターストップ負け、柔道が負けた事の悔やしさ、自分が負けたようになくなつたものだ。

これには後日談があつて、当曰工藤先輩もこの試合を見ていたそうで、蔵前から下宿先の芝大門に帰るタクシーで、頭に血が上っている上に岩手訛りもあって運転手が芝を千葉と聞き違え、千葉に向かつて真っしぐら、先輩周りの景色も眼に入らぬまゝ千葉県の県界で警察の検問に合い初めて気づき、芝に逆

一、良き友人・ライバルをつくりなさい。  
二、目標をもつて、自分の為に全力投球しなさい。

これによつて自ずと道が開けます。歴史と伝統を誇る柔道部を次の世代につなげ、責任がある事を忘れないで下さい。

最後に、私を育ててくれた柔道部に感謝し、御指導頂きました、葉山監督・姿師範・先輩・同僚・後輩の皆さんにお礼申し上げ筆を置きます。

(昭和29年度卒)

## 疾風に立つ

朝日新聞社 竹園 隆浩

二十一世紀を迎えた今年、全日本学生柔道連盟が設立五十周年の節目を迎えた。一八八二年(明治十五年)に、嘉納治五郎師範が講道館を創設されてから約百二十年。時代の波にもまれながら、大海原を

戻り莫大な料金を請求されたと怒つていた。本人から聞いたので確かに話。

四、戦後の大学柔道草創期に在学した事に感謝

S26年私の入学した年、幸運にも学生柔道がGHQから許可され、早速戦後初の学生柔道選手権が、大阪球場特設試合場で行われ、金子主将が初優勝、以降曾根・木本・石橋(各主将)と我が明大勢が優勝を独占又、S27年から一校7名による、学生柔道優勝大会が創設され、明大が圧倒的な強さで三連覇した。然も、三年間、地区予選から全国優勝まで、負け無しは前人未到の記録では無いか、記録と言えどもう一つある。S27年の東西対抗戦で先鋒で出場の欣嗣の六人抜き、これも破られないままに終わっている。同期の岩崎君も四人を抜き会場を湧かせた。東と西の実力差に関西応援団もあきれ、じっかりやんなはれの声援が飛び、会場は笑いつつ、まれた事を憶えている。

こうした明大柔道部の黄金期に、部員として過した事を今まで誇りに思ふ。

青春の総てを柔道一筋に打ち込み、我が青春に悔い無しと言いたいが、もう少し勉学に勤しむべきだったと反省している。

五、部員に若い今しか自分の限界を試す時はありません。私は部員に次の二項を提案します。

かけてきた柔道界。そこに主要な人材を送り続けてきた歴史は、栄光と称賛に値する。

だが、「柔道」というよりも「武道」、「スポーツ」を取り巻く環境の変化。それに国際化の渦の中で、明確な進路を取れないでいる日本柔道界にとって、現実は厳しさを増している。学生柔道界に携わる我々も、その視点をなくしては、時代を見誤る恐れがある。

七月。ドイツのミュンヘンで行われた世界選手権。男子第十二回、女子第十二回の大会は、あらゆる意味で、関係者に衝撃を与えた。

まず、無差別級を含む男女8階級が行われた成績面で、日本勢ではついに、女子が男子の金メダル数を抜いた。

シンド二一五輪前年だった前回、一九九九年大会の4個には及ばなかつたものの、男女を通じて初となる48<sup>kg</sup>級の田村亮子(トヨタ自動車)の5連覇。本学出身の78<sup>kg</sup>級の阿武教子(警視庁)の3連覇、それに70<sup>kg</sup>級の上野雅恵(住友海上火災)の初制覇。3階級の優勝は国別で最多だった。

一方、「軸」になる男子は100<sup>kg</sup>級で井上康生(綜合警備保障)がシンド二一に統いて全試合一本勝ちの圧勝を飾った。しかし、他の7階級は、外國勢に苦杯。世界選手権が体重別になった第四回の一九六五年大会以降では過去最悪の金1個に終わった。伸び盛りの女子の活躍は喜ばしい限りである。だが、日本柔道界を支えてきた男子の凋落ぶりは見るに忍びない。次々と届く報に、ため息ばかりが混じつた。



運営面でいうと、サッカーのVリーグ方式を重ね合わせた延長戦サドンデス(ゴルデンスコア方式)の導入は見送られたものの、欧洲柔道連盟が総額十万ドル(約千三百四十万円)の賞金大会の実施を報告。改革路線を突き進む朴容成会長(韓国)が、無投票で再選された。

カラーピード道着の導入。押さえ込み一本を25秒にするなど、新しい動きは競技者中心の過去の考え方から見ているファンに納得させる点に重きを移しているものだ。そのこと事態は、柔道の発展の妨げになるとは思わない。逆にプラスの効果もあるだろう。ただし、問題の根源は、創始国である日本がそういう提案の中心的役割を担っていないことだ。

相次ぎ、二〇〇一年は日本と韓国で共催するサッカーのW杯が開催される。長引く不況で、企業はスポーツからの撤退を余儀なくされているが、スポーツビジネスという分野では全盛の時を迎えている。以前は考えられなかつたことが、常識化されてきているのだ。

「プロ」という言葉の意味、感じ方も、競技関係者、ファンの心中で変貌してきている。その中で「アマチュア」はどう生き残っていくか。中でも、人気の落ち続けている格闘技の学生スポーツをどう守り、どう導いていけばいいのか。柔道だけに限つたことはない課題だらう。

多様化する社会が、新しい時代の岐路に立つて、と思う。駿河台の道場で、日本柔道界の基盤を支え続けてきた「明大魂」を受け継いだ私たちにとって、戦いの場、ご奉公出来る機会は、

豈の上だけではない。そんな思いを、吹きすさぶ疾風にかみしめている。

(一九八六年卒)

## 四年生就職先

落合 幸治 (商)	新日本製鉄(株)
美 明寿 (政経)	アメリカ留学
西野 公章 (商)	了徳寺学園職員
増村 一人 (法)	(株)セコム
松原 豊 (文)	佐川印刷(株)
鈴尾 哲也 (政経)	山口県警
塚田 知秀 (政経)	東洋水産(株)
飯銅 崇晋 (商)	日通(株)
那川 敏夫 (営)	(株)サンニックス
宮本 泰史 (文)	真和エンタープライズ(株)

## 古賀愛人氏受勲 神永正夫



秋の叙勲…ことしも秋の褒章、叙勲受賞者が発表されました。

記憶に新しい方もおられる事でしようが、昨年の同じ時期に古賀愛人先輩が藍綬褒章勲一等瑞宝章を受勲されました。ご存知と思いますが勲二等は、民間人からの授賞は極、限られた大変名誉な事であり本人は勿論我われ明柔会会員の誇りでもあります。その受勲祝賀会を四月三十日、九州明柔会主催【岩崎会長】で「稚加栄」にて行わされました。受勲祝賀会に神田明柔会会長、百瀬部長、小林明柔編集長、高田幹事長、又遠方からお越しいたる諸先輩方々、講道学舎会長横地先生のご出席を頂き深く感謝しております。翌日

が体重別世界選手権予選日の挨拶、古賀先輩のお札の挨拶を賜りました。お二方とも七〇数名出席、宴も大いに盛り上がりました。開会にあたり岩崎会長が重別世界選手権予選日の挨拶、古賀先輩のお札の挨拶を賜りました。お二方の御挨拶の中を感じました。時は今日伝統ある明大柔道は、今日

豈の上だけではない。そんな思いを、吹きすさぶ疾風にかみしめている。

# 「同期の集い」

珊瑚海  
(II) 三十五年度卒業同期会から

小林忠吉



上段(左から)小川、野口、砂田、小林、山本。  
下段(左から)金森、本村、小田原。

に想い出を語り、飲み、そして次から次  
えと出される珍しくて美味なメキシコ料理に舌つづみを打ちながら全員学生時代  
に戻つて行った。  
昭和三十二年四月我々は入学(入部)  
した。大きな夢に胸をふくらませ小川  
の唄が身に沁みる。

田舎者の集まり故、数日前迄、薪と炭  
で生活していた者が生まれて初めてガス  
を扱う(道場の風呂へ点火の際、ボーン  
と爆発させ、眉を焦がし青くなつて飛び  
出して来る者、街の銭湯に初めて入つて  
失敗した者、マヨネーズをクリーミムと間  
違える者、ストリップ見学を第一目標と  
定め早速浅ランヌ座へ行き「未成年  
お断り」と云われたが「ヨカ、ヨカ」と田  
舎丸出しで堂々と入つて行く者、赤フ  
ン(裸)を自慢気にする者、食堂や喫茶店  
から灰皿、ナイフ、ホーク等簡単に持ち  
帰る者、etc. 当時のエビソードを混じえ

校舎五階へと……(地下道場から移った  
最初の一年生が我々である)それ迄は  
お客様扱いされていた私達も、新人生歓  
迎会が終つたトタン、仮様だった先輩が  
鬼の先輩に急変した。触つては倒され、  
捕んでは投げられ、寝てはギューギューギ  
縛められ(中には落とされる者もいた)、  
トタンに駄目ダアー」と大きく膨らんだ  
夢は栗の様に消え、當時流行つた「イデ  
デ、イデデ、イデデー(バナナボート)」  
の唄が身に沁みる。

ながら彼等を紹介したいと思ひます。  
山口友孝——一年生の時、対天理大戦  
で見事袖吊り込みを決め三年振り優勝  
に大きく貢献した事は皆が知つてゐる。  
毛深い太腕で電車の吊り皮を握ると、  
まわりの人がソッと手を引っ込める程の  
スゴ腕は、重量上げ日本記録を持つ丸山  
彰治先輩と腕相撲で勝負した程である。  
卒業後博報堂に入社、原創人としてボス  
ターのモデルになつたと云うエピソード  
がある。その後メキシコ政府の招聘を受け  
た講道館の派遣でメキシコに渡り、柔  
道の指導者として大活躍。元来は眞面目  
な性格で、コツコツと得意の三角函数関  
係ではない調でマニヤーナ体落としを統  
けた指導が実を結び、やがて柔道界の大  
きな存在となる事二十八年間。そして帰  
国後、出身地伊豆上肥にてベン・シヨン  
「ラ・ボサーダ」を経営、奥様始めお子さ  
ん達の協力を得、大成功を納めている。  
現在も静岡県柔道連盟の要職で活躍し  
ている。

しの小田原が着崩れた姿で加わり全員無事集合する事が出来た。(本村は遅れるとの事で別行動で加わる事になつてゐる。)  
メンバーが揃つた処で、山口の車に乗  
り一路「ラ・ボサーダ」へ。定員通りとは  
云え大男達の集団である。車中は窮屈で  
はあるが、和気相合いで早くも昔話に花が  
咲く。  
やがて本村も到着し、明大柔道部三十  
五年度卒業の同期会が始つた。(尚、榎本、  
石橋、水谷、棚橋、川島は都合で出席出来ず。  
重松、鳴海、杉町は音信不通。平島、有賀は遠くブラジル在住の為め連絡  
出来なかつた。)  
乾杯前に物故者に対して一分間の黙  
祷。明大柔道部及び明柔会の近況を報  
告した後、会の名称を「珊瑚海(三五会)  
と命名し、声高らかに全員で「乾杯!」  
それからラ・マラケニアの曲をバック

藍綾褒章を賜つた事は同期生のみならず

明柔会の誇りでもある。そのお祝いを込めてマヨネーズ料理を沢山食べて貰おうと思つたがメキシコ料理には無いとか、残念である。(彼のマヨネーズ嫌いは、私だけが知つている。)

「藍綾褒章おめでとう」「ムツフツフツ」

「額のシンボル大仏様みたいだな」「ムツフツフツ」「儲かりまつか?」「ムツフツフツ…」「まーだ〇〇か?」「ムツフツフツ…」

金城スマイルである。膝でリズミカルにテンポを取つて歩く姿が仲々良かつたが少々脚の調子が思ひしらないらしい。身体には充分気を付けて貰い度いものである。

小川誠司——湯舟に一人分空きがあつたので入ろうとした小川がステップと入つてしまい「ザマー見る」とばかりに顔に水鉄砲を掛けに来た。私は両手でお湯をぶつ掛けたら隣りの久米先生の顔にも掛つてしまい、更に隣りにいた小林健児先輩が真っ赤な顔で「ガオーッ」としか聞こえなかつた。

九州男児の氣骨の持ち主で、現在「宮崎日々新聞」の常務取締役兼経理室長と

して活躍している。

砂田治男——大男でノッシ、ノッシの形容がピッタリ、眞面目な人柄でエビソードは少ないが、道場へ向かう時は重そう足どりで階段を登つて行くのだが、稽古後の帰りは実に軽快でリズミカル。今は白髪でニコヤカ。ゴツつかつた面影は感じられない。四十年の時の重みをし

みじみ思う。瀬戸内テレビ社長として未だ現役である。私が幹事として当たり前の事をすると必ず礼状が届く。そんな生

真面目さは今以て変つていない。

山本雅之——一緒に学舎でカレーを注文すると時々「カツ」が乗つて来た。生まれて初めて食べたカツカレーの味を山本と逢つたタンに想い出した。ソースを掛け食べたら「田舎モソ」と云われたが、やはり彼も掛けにいた。教職課程

を取る等、並みの者では出来ない事をやつてのけた努力家である。

元国中学校々長を最後に定年退職後、財団法人スポーツ協会の要職にあり現在に至つている。メキシコ時代山口の創つた「柔道デギスト」を日本語版に訳して

是非欲しい、と云つてゐたが、向学心の強い彼のことだからさぞ大いに役立つてゐることと思う。

野口征彦——父上と葉山先生が同年兵で親しかった関係もあって、誘いのあつた大学を振り切つて明大を選んだそ

うである。

「征彦」は葉山先生が名付け親との事である。身体は大きくないが、あの歩き方ですぐ柔道部員と分かる。

姿先生に教えを乞つた時、或る先輩の云い付け通りに、負けじと必死に喰らいつき「チエッ!—田舎柔道が!」と云つて思い切り壁にタタキ付けられた話は有名である。

卒業后、安田生命に入社したが、引き抜かれて建設会社に入つてからは、名談合屋として会社の重責を担う事二十数年、業界でもかなりニラミを利かせていて、たらしく、大人しかつた彼が時々スルド

たが、メシより稽古好きだったあの本村にも弱点があったとは……前日のテキ

ー<sup>1</sup>ラが利いたらしい。

横須賀で小矢部薬局を經營しており、今はメシより仕事が好きになつてゐるのか、いつ電話しても自宅には居らず、必ず店に出てゐると云う好感の持てる同期生の一人である。

欠席はしたが、喫茶店やレストラン、果ては学食に入つてまで必ず、何か持つて帰る特技の持主「平島征也」君は、ジルに在住。

柔道より水泳が得意だと云う「木谷昌白」君は、桑名市で精工会社を經營。

学生時代から笑顔を断やさず如何にも商人と云つた感じの「棚橋健二」君は、龜戸で棚橋工業の社主。

フランス座の話をすると「ヨカ、ヨカ」と今だに九州弁丸出しの「石橋正光」君は東村山市で東判光酒屋酒店を經營、今まで商売を擴張して、今ではお孫さんを相手に楽闘屋かも知れな

い。

當時、新聞の四コマ漫画「轟先生」に出で来る「カバ山君」によく似た我等が名

い目付をする事があり、又、酒が強く、なつたのは二回驚いた次第である。現在は地元の警備会社に勤め、川越市の一角で悠々自適の生活を送つてゐる。

小田原徳明——杉町と共に明柔二世第一号。叔父上は故・徳善先生、明柔は勿論の事、全国柔道界でも有名な御方である。

彼の得意は「吊り込み腰」と記憶しているが、それよりも「口車」が得意技であった。眞面目そうな表情に巧みな口調でよく人を抱ぎ、特に平島がよく抱かれた。

或る時、金城と山舎さん(曾根、神永先輩時代の選手)が似ている事に端を発して、「金城の実兄だが事情があつて子供の時山舎家へ養子に行つたんだ。」半信半疑の彼に大橋先輩の「そうじゃ!」(詰尾が上がる)の一言で確信を持つてしまい、后でいくら眞実を話しても信じてくれなかつた。如何に先輩の一言が大きかつたことか……。最后に野口が「あいつ等、澄水園ジヤア」(注)后にも先にも先輩をアイ呼ばわりしたのはこの時のみと思

う……「チ・キ・ショウ・ウ……」悔しそうに

唇を噛んで私にヘッドロックを掛けに来た。「口車!」「一本!」「小田原の勝ち!!!!」

或る時、神永正夫君が蛇を捕まえて彼に近付けたら「キヤーッ」とトキの声を発して逃げ廻る等、彼にも弱い面もあつた。

大阪の枚方市で、御子息と共に親子三代に亘る接骨院を經營し、仲々繁盛して逃げ廻る等、彼にも弱い面もあつた。

大阪の枚方市で、御子息と共に親子三代に亘る接骨院を經營し、仲々繁盛して逃げ廻る等、彼にも弱い面もあつた。

大阪の枚方市で、御子息と共に親子三代に亘る接骨院を經營し、仲々繁盛して逃げ廻る等、彼にも弱い面もあつた。

いるところ。現在大阪明柔会の副会長として活躍しており、そのなごやかな人柄で会を盛り上げてくれる好人物である。

本村正中——グラスの測に塩を付けて飲むテキーラは旨かった。本場仕込みの山口の心づくしである。酒を飲める彼は大分飲んでいた。舌が円滑になった処で「長寿の秘訣」を説、医学的にそして薬学的に……

年令と共に変り行く食事法から運動法、やがては性慾作用から排尿作用まで論を説く。我々は唯「ファン・ファン」と領

くばかり……さすが薬局経営者である。

翌日、山口の案内で半島觀光の際彼が

マネージャー「榎本正」君は、名古屋で建設会社を経営、今は国造りに、そして夜は〇〇作業に励んでいたとか。出席の予定であったが、体調を崩し欠席となつて残念であった。

「川島功」君は、岩槻市でマルキガスに重役として勤務 オイルショックの時は大分儲けたとか。

敷賀市に住んでいる「小林眞二」君は、奥さんから「病気療養中」の便りを戴いたが、一日も早く快癒を心からお祈りする次第である。

最後に私は、三十年間勤務したイトヨーカ堂を定年退職した后は、本会社の同僚が経営している警備会社の手伝いを。健康維持の為、地元スポーツ少年団で柔道の指導をしております。茨城県南端の牛久市に住んでおり、日々抜きで自適の生活を送っております。

最后になりましたが、安価以上の、心の込ったサービスをして頂いた山口君をして奥様始め家族の皆様に心から感謝致します。お陰様で良き思い出となる会が出来ました。

## オーッと、 忘れちゃいやですよ、 54年度卒同期会

河田 恵吾

と結婚式もなく、今回久しぶりに集まる  
うと約5年振りに集まった次第です。

私達の学年は、9名おりますが、今回  
参加されたのは5名と1学年下の安川君  
との6名でした。今回は、熊本在住の清  
崎君のお話で、熊本は、菊池温泉に集  
まりました。菊池温泉は、菊池渓谷のそ  
ばで、私達にとっては、3年の熊本自衛  
隊での合宿で、トレーニングでほとど  
なった思い出の場所でもあります。今回  
の参加者は、栗原君、松村(旧姓)下瀬君、  
清崎君、佐藤忠君、河田と1級下の安川  
君です。我々も、44歳になり、もちろん  
現役を離れて、十数年も経つわけですが、  
その食いつぱり、飲みっぴりときたら、  
現役時代そのものか、もしくは、それ以  
上であるかを、思わせるような豪傑ぞろ  
いでいた。だんだんと、頭髪の方も、薄  
くなったり、白髪が混じたりの年齢で、  
そろそろ生活習慣病も出だしているのも  
いるわけですが、みんな揃えば、「一気に  
学生時代に遡り、学生時代そのものの  
会となりました。やはり、この明柔の同

さて、私達54年度卒の同期会が、9月  
15日に熊本で、開催されました。54年度  
卒で、どんな奴らだったんだろうと思わ  
れるかもしません。ほら、あの明柔  
始まつて以来の1回戦負けで、近大に負  
けてしまつた学年です。私達も、卒業後  
早や22年目になりました。お蔭様で、そ  
れぞれ仕事に家庭に忙しい毎日をおく  
つております。今まで、結婚式には、同  
期会を兼ねて、全員必ず集まろうとや  
ってきましたが、さすがにこの年齢になる

四十一年振りの再会を得、一人一人がホ  
ロ苦く、そして懐しい青春を語り、来し  
方を語り、残された未来を語りそして飲  
み、食べ、楽しい時は夢の様に過ぎま  
たが、又の「会い」を固く約し、それぞ  
れ次第である。

家族の待つ家路に着きました。楽しかつ  
た珊瑚海の余韻にひたりながら――青  
春は意氣であり、熱であり、顧みる時  
のほほ笑みである。

(三十五年度)

## 39年度同期会

幹事 坂口征二・鳥海又五郎

昭和39年度卒業の同期会を10月5日  
にJR水道橋駅前の後楽園飯店で、また、  
2次会を東京ドームホテルの最上階のラ  
ウンジで開催いたしました。

1・2次会とも東京ドームホテル総支  
配人菅谷邦正(38年度卒)先輩の特別の  
計らいでサービス満点にして頂きました。  
人生の中で最大の青春のエネルギーを爆  
発させた4年間と共に競った。仲間達と  
楽しいひとときを過しました。  
母校明大で柔道を修業してきたことを  
真に良かったとつくづく思いました。



上段(左から)野坂良雄、村井正芳、植草勝、鴨海又三郎、  
飛島義祐  
下段(左から)渡辺昌照、関勝治、坂口征二、中野正博

次回は来年熊本で開催する事が決まり楽しみにしております。

を楽しんで、明柔会にも、寄付できるよう  
うに頃張らうよと思つた同期会でした。  
今回、参加できなかつた、メンバーの近  
況を紹介します。

田中和美 東京都在住 赤帽ヨシワ運送  
を経営。しっかりと、頃張つて

いますので、ご安心を。

滝沢 良 長野県在住 (株)戸上リネ

ンサプライ専務取締役として、営業全般を担当。戸倉上

山田温泉界隈では、相当の顔役とか。

谷口 悅 愛知県警察本部に勤務、少年柔道の指導に汗を流している

が、最近はもっぱらゴルフに熱中。シングルプレーヤーを目指して特訓中。

中尾保裕 福岡県在住(株)ベルクラシック福岡大濠に勤務、結婚式のコーディネーターとして活躍。

自分の子供達と共に、週3回少年柔道の指導に汗を流す。

(昭和54年度卒)



(向って左から) 松村孝明、佐藤忠司、清崎威朗、宿の女将、栗原三千男、河田恵吾、安川寛道(55年度卒)

## 武里柔道クラブ

会長 小川 登志雄  
(S33年度卒)

埼玉県春日部市大枝904-4 TEL. 048-736-6059



## みちのく国体明柔会

(熊本・40年度・山本裕洋(福岡・41年度)  
河原月夫(愛知・46年度・上村春樹(東

京・全柔連強化委員長・47年度・諫訪剛

(千葉・京葉ガス監督52年度)の各OB、

更には仙台市より千葉剛(49年度)

の両氏が、馳せ参上、明柔蒙華メンバ

ーが一堂に揃い学生時代にタイムスリップ

した談話に花が咲いた。

囲炉を囲み、串さしのサンマをぼうぱ

りつつ、酒を酌み交わす。駿河台道場や、

地方での合宿稽古等さらには、「明大柔

道」「日本柔道」「世界の柔道」と、談論風

発、誠に意義ある「みちのく明柔会」と

なり、もどりカツオの風味と香りを残し

つつ、秋の夜のふけるのも忘れる盛会であつた。

ただ、故神永昭夫先輩(33年度)の地元

だけに、この場におられたら、より一層

盛り上がった事だらうと、全員が思いつ

つ……

（福田二朗(東京・33年度)、中谷雄英

(広島・全柔連理事39年度)、坂本褐正



B会員と再会を喜びあつた。

「学びて、時にはこれを買う、亦悦ば  
しからずや、朋有り遠方より来る、亦來  
しからずや」。

近年国体開催地での「明柔会」は、残念

乍ら実施されてない。全柔連の御三家「岩田・國安・上村」の各OBは、国民体育大会においても特段の要職についていることでもあり、是非、今後の御尽力を期待したい。会を催すことで、中央と地方の情報交換の場ともなり、それが母校明治の柔道の発展につながるものと確信するからであります。

今後も国体開催地では、是非、継続して開会されることを願つてやみません。

坂本 碩正(文) 山本 裕洋(写真)



西明柔会会長  
大橋 武彦

連覇を期待されながら果されなかつた第3回学生体重別団体戦(尼ヶ崎体育館)ではあつたが、大会終了後関西明柔会による選手慰労会が市内の中日館レストランで開かれ、大橋会長他三三名の関西在住のOBが参加し学生たちをねぎらつた。なお、大会にあわせて関西明柔会より部旗が贈られている。

## 関西明柔会



坂本 勇太	(-60K)	武田 恵一	(-66K)	深田 博昭	(-90K)	澤田 敦志	(+100K)	一杉 剛弘	(+100K)
旭川高校(政経)		前橋育英高校(商)		世田谷学園高校(商)		埼玉栄高校(経営)		世田谷学園高校(政経)	

## 二〇〇一年体育推薦新入部員は五名

### 総合解体業

株式会社

# 村上工業

代表取締役 村上光昭

〒272-0004

千葉県市川市原木2393-3  
電話 047(328)0979代  
FAX 047(328)0982



高久娘  
しぼりたて生酒  
清酒・度数 300ml  
・アルコール度数 15.0度以上 140度未満  
(消費税込) 300円

神 永 正 夫	37年 法学部
(福岡支店長)	
飛 島 義 純	40年 農学部
(仙台支店次長)	
山 下 審 彰	45年 商学部
(千葉営業所病診一課長)	

タオル製品専門商社

## 四国商事株式会社

〒165 中野区新井1-15-12

TEL. 03 (3386) 5664(代)

FAX. 03 (3386) 7619

代表取締役 浜本 義典(51年度)

専務取締役 浜本 敏典(〃)

食品業界に奉仕する中島グループ

中島興業株式会社 代表取締役 中島平人

水谷武史

中島畜産食品株式会社 総会社 東京都墨田区太平168

日本榮養食品株式会社

中島畜産市場仲買株式会社

弘友食品株式会社

## 桜田接骨院

院長 桜田 裕  
(S53年度卒)

宮城県古川市中里2-6-52  
TEL. 0229-22-3900

## 「文化的雑食の功罪」

しない。

オリンピックの報道を見ていて、いつも思うことだが、日本人というのはよくよくマメな国民であるらしい。冬の競技を見れば、自然のままでスキーやスケートが出来る地域が国土の半分あるか無しの国なのに競技のほぼ全種目に出現しているのではないか。フィギュア・スケート、長距離レース、どのくらいの競技人をもつのか知らないがバイアスロン、からリージュ・ボブスレーにいたるまで、ひとつとして日本選手が顔を見せていない競技はない。金メダルはつまりで、めったに六位に入賞する選手もいないのだから「オリンピックは参加することに意義がある」というのは、ひょっとしたら日本のために作られた標語であるかも

珍らしい様な気がする。日本人はアメリカ人しかやらないアメリカン・フットボールもやるし、アメリカ人がめったにやらないラグビーも好きである。

野球、サッカー、テニス、ゴルフから、馬術、アーチェリー、拳法、ハンドボールと、世界のあらゆる国の民族競技をとり入れ、おまけに日本固有の相撲まで保存しているから、いってこの国の競技は何もあるのかと思ってしまう。もっといふなら、この現象はスポーツだけのことではなく、学問から芸術まで、あらゆる文化活動が極端な多様化を見せていて、

のが日本の特色だといえそうだ。フランスのシャンソンにイタリアのカンツォーネ、スペインのフラメンコにブラジルのサンバと、世界中の芸能で日本人がたしなまないものを探すのが難かしい。世界の本がもつとも多彩に訳されているのも日本であるし、さらにはフランス、中国、イタリアなどのビックからはじまつていわゆるエスニック料理までそろっているのも、この国だけのにぎやかさではないだろうか。

しかし、これだけ国民の関心が幅広く散らばっていては、ひとつひとつ分野の人口が小さくなるのは当然であつて、そこには集まる才能の層が薄くなるのはやむを得ないであろう。スポーツばかりではなく、どの文化領域をとり上げても、何となく、世界的に傑出した才能が日本には乏しいように見えるのは、あるいはそのせいかもしれない。

たとえば、舞踊の素質のある人間が一定の数だけいる所れど、日本では少なうとも、それを古典バレエとモダンダンス、フラメンコ、ハイアンダンス、能など

歌舞伎、民謡おどりとフィギュアースケートなどに分配しなければならない。この事をスポーツの分野にもあてはめて見てももらいたい。総人口がいくら多いとはいえ、これほどやることが忙しくあっては、それぞれの分野で頂点を支える裾野が狭くなるのは何うしようもない話だろう。

日本人はそれで結好楽しんでいるのだが、国際的に見ればこれは余りかんばしいことではなく、世界に貢献するために今は、今後は日本人のエネルギーをもつと集中しなければならない、という意見が出てくるかもしれない。しかし、その反面、純粹に国内的に見ると、この文化的雑食は、あんがい国民の精神衛生にとってよいことの様にも思われる。

ひとつの分野の敗者も別の分野で上位に立つことが出来分野の数が多いだけ多くの人びとが自尊心の満足を味わう

21世紀へ向って...  
躍進する京葉ガス。

京葉ガス

生産部市川工場 本社 幸272 市川市幸町2丁目8-8 電話 0473(26)1121(大代)

ことが出来る。  
「平等社会日本」がこんなところにも現われているのであるが、それをいえ、國內的な利点が国際的な欠点となるという特色も、いろいろな局面に現われはじめている事に心すべきである。(K)

## 少年柔道教室

吉田監督による少年柔道教室

教室が十二月二十二日静岡県西伊豆土肥町で地元教育委員会の主催で開かれた。

当日、会場の総合会館には二五〇名の小・中・高校生が参集し、熱心に講習を受けた。

少子化のなかで柔道の底辺拡充が望まれている現在、この種の活動に参加することは我々にとっても有意義な事と考える。

なお、土肥町は三五年度の山口友孝氏の出身地で現在ベンショーン経営のかたわら指導に尽力している。

県柔連顧問

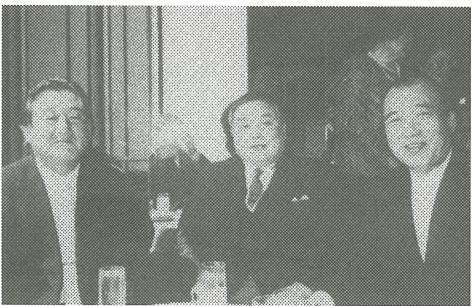
# 近況報告

## ”同行二人“

栗原 英道

小生はしがないサラリーマンながら、海外見聞の願望は強かつた。

「どこへ行きたいいんじゃ」



朝田 紀明 大国 伸夫 栗原 英道

「ええのおー、二人で行くか」

「アッ」と言う間の歳月だった。

同年10月、畏友故・大國伸夫君の七回忌法要が、思い出多い明大和泉校舎に隣接する和田堀廟所にて営まれ出席させていただいた。墓前に報告することは退職のこと、生前一人が約束したことを行ふことの二つ。

二人の約束とは10年前に逆上。お互に50才を迎えた春、久しう振りに会つて一杯やりながら語り合う中で旅する話となつた。

当時彼が立ち上げた事業は順風満帆で、忙しく世界を駆け巡つていた。

「可能なら中東まで」  
「ええのおー、二人で行くか」

この話はその後大いに盛り上がり、イスラエルとパレスチナに和平の兆し出た1992年頃には富貴見先輩(昭33年度卒)の住むレバノンのベイルートを訪ねる段取りするまでになつた。

残念ながら彼の突然の死でこの計画は立ち消えとなつたが、小生の胸中では旅への思い入れは増すばかりで、ようやく実行の時がきた。

行き先はポルトガルとスペイン、一人旅いや大国の心と共に

“同行二人”。

## 偲ぶとは思い出すこと秋の旅

2000年11月関空出発、チューリッヒ経由リスボン着、ホテルに落ち着いたのは深夜、白熱灯が美しいリスボンの家並みが臨める窓辺の椅子で2つのグラスに酒を満たし、

「ついに来たぞ、友よ乾杯!」

思い出を肴に一人したたか呑んで旅の第一夜はダウン。

ポルトガル滞在5日、6日目スペイン入国、独立の機運強くテロで物騒との噂のあるバスク地方を敬遠してその他の主要都市を巡る。

快晴好天に恵まれ、旅程を快調に消化して最後の訪問地としたバルセロナに到着。

3日目、モンジェイケの丘オリンピックスタジアムを訪れ、吉田監督が“男”になつた1992年のあの感動画面を振り返る。

夕刻歩き疲れて早めの食事をレストランに入つた。

天才ガウディの傑作サグラダ・ファミリア聖堂を正面に見る窓辺席をとり、例によつて二つのグラスに酒を満たし、大国の面影と吉田監督快挙の瞬間等を交互に思ひ浮かべながら、気持ちよく呑んだワインは美味かつた。

翌朝帰國の途、バルセロナ発チューリッヒへ。

機内のさわつきにふと窓外に目をやるとアルプス上空にさしかかつたところ、雲一つない峰嶺の眺めはまさに絶景、写真で見

覚えるあるモノプランも見える。

乗務員の話ではこれほど良いコンディションは年間を通してもめつたにないとのこと。

ふと、「これは「大国からのプレゼント」と思った瞬間熱いものが込み上げてきて視界を遮つた。

それを懸命に拳で拭いながら見た風景の素晴らしさを、生涯忘ることはあるまい。

2001年1月になつて南仏とイタリアへの旅の準備を始めた頃、広島の大國の長兄さんから「是非会いたい」との電話があつた。

弟次男に会長職を、第三男に社長職を渡して相談役になつたが、おられるが、実質「大企業グループ」の絵師である。

「わざわざおいでいただかなくともこちらから伺います」

広島新市に帰郷した時お会いした。

一大阪支店長が仕入れ先のイタリアのメーカーに転籍することになった後任としては是非入社してほしい」と。

一大事である。

大阪支店長は旧知で、大国が会社を立ち上げた時以来の腹心と吉田監督快挙の瞬間等を交互に思ひ浮かべながら、気持ちよく呑んだ。

どんな事情があつたのか知らないが、決定事項のこと。

サラリーマンにはもう戻らないと決めていろいろ準備を進めていることと、後任としての自信もないこと等々から断る気持ちが強かつたが、古くからよく知つてゐる畏友の長兄さんからの

たつての頼みとあっては断りにくい。

農園図と思いつく。時代の恩人からの或るアドバイスを受けてようやく踏ん切りがついた。

2000年3月16日、来阪された相談役と社長にお会いして

返事が遅くなつたことを詫び、「お世話になります」と告げた。

着任したのが3月21日、僅か1年のブランクであったが、やる

気を無くした心をもつて復するのがいかに大変か、愕然とする

思いの中で、後悔がなかつたといえば嘘になる。

鬼と呼ばれた某氏に仕えた20代後半を思い起こし、その一つ

一つを復習実行するうちにようやくエンジン全開となつた。

以来月日が経つのが極めて早い。

大阪支店社員36名、若く働き者の多い集団であるが、行動パ

ターンはシャシーにエンジン乗せただけで勝手に走り廻る自動

車を見る思いがする。

事を処す時、具体的に納得しないと、またはさせないと動か

ない結果は覚束無いことが多々ある。

何が問題でどうやって処理解決するか、日常の実戦の中から

事例を取り上げてケーススタディすると効果大であるが、根気と

時間がタップリ必要だ。

かつては、アグレッシブ栗原などと嬉しくない陰口されながら

も、相当ダイナミックに事に処した昔もあったが、代替要員が豊

富な大組織だから出来たことで、現状では今ある人材個々に着

実に力をつけてもらわねばならない。

言葉使いも柔らかくなつた。

注意や指導も筋書きを事前にメモするようになつた。

先日も約束事に従わず業務を混乱させたことを反省しなくて正

当しようと思屈をこねる社員に、何が問題だったのかをケー

ススタッフの要領で納得させた後、一言仕掛けたメモがある。

いつか何かのおりに読んだものをアレンジした。

少々品がよくないが紹介しよう。

「屁理屈」というのがある。糞とは言わずあくまで屁だ。氣体

なので正体が見えずすぐに雲散霧消する。むさ苦しく爽やかで

はない、下品なのだ。多少苦しいが屁は我慢しよう。そして屁理

屈はやめよう。営業では炎やかな人柄と、理路整然、潔明

瞭な言動が必要最小限の基本装備なのだ。

少し腹を立てていてアクションがかかりすぎた為

か、この社員は落ち込んでしまった。

三日後の夕刻仕事の区切りをみて、赤提灯に説いてヨイショ！

と叱咤と激励を行つてフォローアップの儀式を終えた。

同行二人、地中海沿岸巡りの旅は、諦めたわけではない、始

まつたばかりだ。

出来る限り早い時期に後任を見つけバトンタッチして再開し

たい。

それまではエンジン全開にして、いずれ“彼岸”で会う異友大

国への土産物を沢山持めておこう。

そんな思いがいっぱいのこの頃である。

(昭37年度卒 オークニージャパン㈱大阪支店)

## 『少年柔道と私』

小川 登志雄



しようと、よほど熱心な生徒でなければ、道場の稽古に参加することがむづかしくなる。こうして柔道と縁が切れてしまう。

中学生時代は技術の習得にても人格の形成にも大切な時期である。

少年部で柔道を習い始め、

せつから興味を

持ちはじめたのに、離れさせて

しまうのは、もつたないことが多い

だ。何か方策を

たてねばと考え

ている。

私は中学一年の時、東京・浅草の町道場に入門して柔道を始めた。以来五年余り。語る程

の柔道歴は全く無いが、敢えて云えど、高校三年の時、講道館

武里柔道クラブ夏季合宿 2001.8.3~5 茨城県ひたちなか市武道館にて

天涯にわかつて柔道を続けるようにしよう」と決めていた。

長年にわたり指導を続けるなかで、小学生については目標達成にむかつて努力をし、それなりに成果をあげていると思つていい。けれども中学生達のことで常に気にかかることがある。

柔道の面白さが判りはじめ、興味を持つようになつて中学校に入学しても、学校に柔道部がないため、やむをえず他の競技の部活動に入つてしまふ者が多い。当市には中学校が六校あるが、柔道部があるのは二校。他是指導の出来る教諭が居ないので理由で廃部となつてしまつた。他の競技の部活動を始めて



選手が華々しく十九人を抜いた時、十六人目で投げられて、彼の記録達成に貢献したことぐらいだ。神永君についてはいろいろ思い出すことがある。少年柔道指導で二つ想い出したことがあります。

神永君が全柔道専務理事になって柔道界の改革、前進に力を

傾注していた頃のことだった。同期の三三会の席か、下町明柔

会だったか、仲間が気楽に盃を傾けて歓談していた。たまたま

私が長く少年柔道の指導をしている云々の話になつた。その時

神永君が「エンコ(注)のやっていることは大事なことなんだ、こ

れからもしっかりと続けてくれ」とボソリと云つた。日頃神永君

からは辛口のコメントを云はれていたのでその言葉が胸にしみ

たものです。

注:生まれが浅草で、浅草公園のことを「エンコ」と称したの

と、チョイチヨイ怪我で故障(エンコ)するのを合わせた同

期の間での仇名。

(三十三年度 朝日商会(株代表)



図るとともに、関係官庁(警察、海上保安庁)とも協力して、そ  
の摘発に努めています。

次に入閣した経緯について紹介致します。実は、私は学生時代、税関ではなく警察庁に就職を希望していたので、大学3年生の時に吉田監督に特別に体部の許可を頂き、その間必死に受験勉強致しました。その甲斐あって何とか一回で国家公務員試験をパスすることができましたが、これは、各省庁の採用面接を受ける権利を得ただけあって、この後さらに各省庁が個別に実施する採用面接をクリアしなければ自分の希望する省庁には就職できません。そこで、私は、合格発表の次の日に希望していた警察庁の採用面接にいきました。しかし、残念ながら、一回目の面接で不採用が確定てしまい、警察庁に就職する以外考えていなかつた私は、これからどうしようかと頭に迷いながら各省庁のパンフレットを何気なく見ていました。すると、東京税関のパンフレットにレクリエーションの紹介として柔道の写真が掲載されていたので、これならば、仕事の内容を全く知らなくてても、なんとか柔道の話題で面接は乗り切れるだろうと思ひ、早速、東京税関の採用面接に赴きました。通常、面接では職務についてこちらから細かく質問したり、社会情勢についてなど難しい質問を受けるのですが、税関の存在なら知らなかつた私は、マージャーとして裏方の仕事をやつしたことなどを中心に明大柔道部の自分がどういう事をしていたのかを必死で話しました。そのときの面接官は非常に興味深く聞いておられましたが、柔道しか能が無い野郎だと思われ多分だめだらうと

思ひ、その日は気分転換に友人と飲みに行きました。すると、飲んでいる時に人事の方より携帯電話に内定が決定したとの連絡があり、まさか当日に内定の連絡がくるとは思いもしなかつたので、非常に驚き、「瞬髪」が覚めてしましましたが、その日は嬉しさのあまり思わず明日まで飲んでしまい、翌日、二日酔いの状態で内定の通知を受取に行つてしましました。

これは、就職した後に当時の採用の担当者に聞いたことです  
が、税関では昭和6年から現在に至まで、50回以上も武道大会(年に一度の9税関による柔剣道対抗戦)が行われているほど、昔から柔剣道が盛んであり柔剣道の有段者であれば、採用され易いのに加え、面接官であった当時の総務部長が東大柔道部出身であり、なつかつて武道部長でもあつたことから、明大柔道部がどのようなところかよく存知であり、大学での学業の成績があまり良くなかった私を明大柔道部出身というだけで、非常に好感を持たれ即採用になったということでした。

このように、私が東京税関に就職できたのも、明大柔道部のお陰であり、今改めて多くの先輩方が築いてくださった明大柔道部の伝統の偉大きさを感じるとともに、入部して良かったとしみじみ思います。

最後に、今後の明大柔道部の活躍を祈願して私の近況とい

## 税関で頑張っています

池田亮



学生時代は、諸先生、明柔会の皆様には、大変御世話になり、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

私は、平成十一年度に明治大学を卒業し、現在は、お台場にあります東京税関監視部に勤務しております。

本来ならば、自分自身の近況を書くところなのですが、近況は、顔写真を見れば十分だということなので、私の職務の内容と入閣した経緯を紹介させていただきます。

税関は財務省の地方支分部局として、東京、横浜、新潟県、及び山形県の1都5県と成田空港及び東京エアーカーゴシティへおり、全国を9つのブロックに分けて管轄しています。東京税関の管轄区域は、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、新潟県、及び名古屋、門司、長崎、函館及び沖縄地区の9税関が設置されており、全国を9つのブロックに分けて管轄しています。東京税関の管轄区域は、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、新潟県、及び名古屋、門司、長崎、函館及び沖縄地区の9税関が設置されています。最近の海外旅行者の増加や密輸手口の巧妙化などに対応するため、X線検査装置、麻薬探知犬等の取締機器等の充実を行つております。

私は現在所属しております監視部は、海港や空港において24時間体制の厳重な監視網をめぐらし、商業貨物や海外旅行客の携帯品などの検査等を通じ、違法な輸出入を水際で取締っています。そのため、X線検査装置、麻薬探知犬等の取締機器等の充実を行つております。最後に、明大柔道部へのお祝いの言葉を述べます。このように、私が東京税関に就職できたのも、明大柔道部のお陰であり、今改めて多くの先輩方が築いてくださった明大柔道部の伝統の偉大きさを感じるとともに、入部して良かったとしみじみ思います。

このように、私が東京税関に就職できたのも、明大柔道部のお陰であり、今改めて多くの先輩方が築いてくださった明大柔道部の伝統の偉大きさを感じるとともに、入部して良かったとしみじみ思います。

最後に、今後の明大柔道部の活躍を祈願して私の近況とい

河田 恵吾



# 城のあらわし

松阪有情

轟が芽吹くことになると、松本市だが、地方で暮遊する人たちが増えてくる。田舎のルートを走っている。吉田屋の本社は、東京へお出でなさい。あれわれないでね。思ひ出がよみがえります。歩いた。散歩もよし、光夫さんは、東京でのサマーマン生活に見切、松本に住居を構え、一軒一軒、販路

信用と対話「薬屋の原点」を目指して



昔は柳ごうり(右)に藁を納めて背負って歩いた。最上段には帳面やそろばんを詰めた。お土産は紙風船や版

書など。栗原さんは「紙鳳船」とも呼ばれた  
え・白樺 修造

同業十四歳で、なんとか歩いたところと云ふ。今も

で伊勢の家では強引に心強は入れることもあらぬやうだがちが、先用後商法はいたいといふん宅をも、そ

田増治 いるの  
田さん りを積  
「飲 るんや  
し」む  
に法人  
一タヽ、  
万軒の  
地域に  
点にこ  
と、恵  
ん(ギ  
こと大  
近い。  
(由本

○ けんの。たい代旨がをし願 が話た阪車き八 が。たを

明柔ゴルフコンペ

濱本義典(五一年度)

四月二八日 好天のもと千葉県姫ヶ崎  
カントリークラブにおいて恒例の明柔会コ  
ンペが開催されました。

今回は、五組一九名の参加者によつて  
栄える優勝が競われました。結果、優  
勝は高田幹事長であります。ロングヒッ  
ターの多い中、業師振りを發揮され、堅  
実なプレーで優勝を勝ち取りました。成  
績の詳細は別表の通りであります。

最近若手OBの参加が少し寂しい状況となつております。様々事情はあることは存じますががぜひ多数の若手OBの参加をお待ちしております。大先輩方の違つた一面がグリーン上で発見できるかもしません。

貴品のご寄付を頂きました。紙面をお借り  
今般のコンペ開催にあたり各方面より  
の時期に合わせて開催する予定です。多  
数の皆様の参加をお待ちしております。  
りし改めて御礼させていただきます。  
来年も全日本選手権並びに明柔会総会  
の時期に合わせて開催する予定です。多  
数の皆様の参加をお待ちしております。

## 平成13年明柔ゴルフコンペ成績表(敬称略)

13・4・28 姉ヶ崎カントリークラブ・新ペリア方式

氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	順位
栗原三千男	48	45	93	20.4	72.6	準優勝
湯浅 政一	49	53	102	26.4	75.6	7
濱本 義典	49	46	95	18	77	11
渡辺 政雄	60	59	119	31.2	87.8	17
渡辺 欣嗣	40	45	85	9.6	75.4	6
大橋 武彦	47	52	99	22.8	76.2	9
田村 興靖	42	46	88	10.8	77.2	12
甲斐 福男	51	47	98	21.6	76.4	10
松本 順吉	46	43	89	13.2	75.8	8
高田誠之助	48	48	96	24	72	優勝
町山 良行	67	58	125	32.4	92.6	B.B.
岩戸 正美	53	46	99	24	75	5
細川 隆夫	61	50	111	24	87	16
関 勝治	41	46	87	13.2	73.8	4
小澤 正弘	46	45	91	18	73	3
北瀬 晴一	43	43	86	7.2	78.8	14
渡辺 昌照	46	52	98	20.4	77.6	13
石井 成夫	59	53	112	32.4	79.6	15
加瀬 次郎	63	62	125	30	95	19

\*ベスグロ 渡辺欣嗣氏 85

各方面より多数賞品のご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(ゴルフ幹事)



## 学生のレポート

マネージャー 杉田 洋一



### 準備運動と整理運動

部員を代表して先輩方のいつも変わらぬ御支援、御指導に対して心から御礼を申し上げます。

今年は皆様方の御期待に応えることが出来ましたが、益々気を引き締め連覇に向けて頑張ります。

さて、会報に学生のレポートをいわれ、苦しみながら次の様な文を書きました。乱文をお許し下さい。

最近は健康ブームといわれ食事の内容や健康のためのスポーツについていろいろと述べられています。多分、生涯スポーツに汗を流しておられる先輩方もおられる事と思います。また、今回会報に寄稿されている小川登志雄先輩のように少年柔道を指導されている方も多いときであります。

そこで、先輩方の健康管理や柔道の指導に少しでも参考になればと考え、部員が日頃現場で教えている各種のトレーニングの中から準備運動と整理運動について簡単に述べて見たいと思います。これはどんなタイプのスポーツには欠かせないも

のだと考えるからです。ただ、ここではどちらかといえば軽視されている整理運動を中心にも書きたいと思います。健康保持のためのスポーツでは事後のリラックスが非常に大切な要素であることは専門家も強調しています。

我々は練習や試合の前に準備体操(ウォームアップ)を行います。ウォームアップとは心と身体が「よし！やるぞ」と反応する準備の運動であります。

我々のやっている柔道の場合でいえば柔道という屋内の限られた場所で行うため、格闘技の異特性から筋肉や関節の柔軟性を増すことを主眼とした、柔軟運動が主力として取り入れられていますが、他のスポーツの場合を考えても準備運動の目的は、①体温、心拍数を上げる。②筋肉、関節の柔軟性、弾力性を高める。③やる気や集中力を高める。ということであります。

我々の柔道の場合準備運動の最後に「受け身」という柔道の基本技を行います。これは単なる準備運動レベルのものではありませんが、①②③の持ち味を複合した準備運動としても高度なものと考えます。ただし格闘技以外には向きであります。さて、準備運動のやり方ですが(ここでは一般的なスポーツ・ボールゲームの場合を想定する)次のような順で行います。必ず軽くジョギングしながら手足の体操やもも上げ、サドストップ

ズ、ツイストをします。

5分～10分ぐらいのストレッチング、ランニングからダッシュ、その後、ボールを使ったトレーニングへ移ります。

また、準備運動の目安ですが汗が出るまでやる。心拍数も目安とする。だいたい10分～20分ぐらい行うが、当然ながら年齢や個人差、季節、気温などで所要時間は変わってきます。本体の練習の強度により、軽い練習では短くハードな練習では十分に行うべきです。

一方、整理運動(クールダウン)はゲームやトレーニングの後に行うのですが、準備運動にくらべてしっかりやらない傾向があります。やり方としては、・ストレッチング、ジョギング、水泳などを15分前後行う。激しい試合や練習のときは時間をかけ、軽い練習では必要ありません。

整理運動には次のメリットがあります。

- 筋肉回復が早い。
- 筋肉痛がやわらぐ。

生理学的にも激しい運動のあとは、安静にするより、軽い運動をした方が乳酸(疲労物質)が早く除去されるといわれています。

○筋肉の弾力性を保つ(障害の予防となる)。

### ストレッチング

ストレッチングを取り入れている運動部は多く近年益々増えています。明大柔道部も重松前監督の時代から整理運動として取り入れました。

ストレッチングは筋肉をゆっくり伸ばすところに特色があります。

スポーツでは柔軟性が大切で、柔軟性が不足すると可動域が減つて、外傷や障害、肉離れをおこしやすいのです。

柔軟性には動的なものと静的なものがあり、ストレッチングは静的柔軟性をよくすると考えられております。スポーツによつては動的柔軟性のほうが大事ですが、量的に計測困難なため、定量化が簡単な静的柔軟性を重視しております。

従来の柔軟体操は、反動をつけて行い、パートナーが無理に筋肉を伸ばす傾向があり、筋肉や韌帯を痛めることもあります。ストレッチングは準備整理運動の一部として行うと外傷の予防や疲労回復にいいと考えられています。

ストレッチングのやりかた。

- リラックスして気持ちよく行う。
- 筋肉を15～30秒ぐらいゆっくり伸ばす。(マイペースで)
- 呼吸は自然に行う。はいて吸う。

○ 痛みを感じない程度にストレッチする。

○ 前後、左右にストレッチをしてみて、楽に伸びる方から始める(伸びにくく、曲がりにくい方は後にする)。

○ パートナーが抵抗をかけて行う方法など、また、反動をつけて行う方法などバリエーションがある。

※ やり方はすでに御存じかと思いまので具体的な型はここで示しませんが必要であれば市販のテキストによって下さい。

## コンディショニング作りとリラックス

高いレベルの競技での運動能力は単にテクニク、きびしいトレーニングによって身につけるばかりではなく、コンディションとしてよい健康状態、体調、これにふさわしい精神的な状況を必要としますが、これは生涯スポーツにも通じる前提条件です。我々もこの点はよく解っていますが、いち大学の運動部活動の中では様々な理由から具体的な対策はどう得えていません。せいぜい睡眠、食事、部内の人間関係に気配っているといふ程度です。

従つていま我々が練習の中で行っているコンディショニング作りの、マッサージとサウナ、入浴について記して見ます。マッサージ、サウナ、入浴はケガなどの局所的な効果ばかりではなく、精神面のリラックスに対する効果があり、我々にとって欠かせない補助手段となっています。

いてもっと厳格に検討する必要があります。

あまりに多量の水分と塩分を汗の出しそぎによって失うことには、物質代謝のバランスや浸透圧の状態に障害を及ぼすばかりでなく、疲労させ、直接反応力や瞬発力を低下させます。従つてコンディショニング作りのトレーニングでは週一～二回サウナに入れば十分で、正常では温度の高くなないサウナで十分を二回以上越えてはならないそうです。

入浴の効果も、サウナに準じたものと考えておきます。我々学生はサウナに定期的には行けないため、浴そうで十分に体を暖め浴そうを出て発汗させるやり方をやっています。

筋肉の血流をよくする疲労回復のほかにサウナや入浴効果で大切なのは自律神経を休めることができます。これは例えば熟睡でも達せられる効果だそうです。がスポーツマンのコンディション作りにかけがえのないものだと思います。

以上、柔道部のコンディショニング作りの一部を参考になればと思ひながら述べて見ましたが、大学柔道部の時間に合せたものですから専門的に見て合理性に欠ける点が多いと考えます。はじめに多少の参考になればと書きましたが、漠然とした文の中からその部分を見つけていただければうれしいと思います。(終)

ただ、これらはやみくもにやればいいというものではなく、目的に応じて規則正しく柔道の準備に組み込んではじめて効果を上げるものであります。以下は我々の場合のことなので御参考まで、マッサージについて、えば①トレーニング・マッサージ：これはトレーニング前に行い、筋肉の物質代謝を盛んにして筋肉をほぐす。②試合前マッサージ：試合直前に筋肉をやわらかくほぐし、血流をよくして血流量をふやす、これは精神状態を定させることになるので注意深く行う。③疲労回復マッサージ・トレーニングや試合による激しい運動のあと、疲労状態を解消し、筋肉の痛みやしこりをとりほぐして回復を早めるために行う。マッサージで注意しなければならないことは痛みをおこさせてはならないことで、ケガの負傷が新しいときはやつてはならない。また、必ず暖かい場所で行う。(最もよい温度は24度Cといわれています。)

サウナや入浴のスポーツに対する効果は、トレーニングや試合のためのコンディショニングをよくし、直接に運動能力を高めるだけでなく、予防・治療の効果もあります。ただ、サウナの場合に我々スポーツマンが、注意しなければならない点は、一、サウナの効果を軽くみて、サウナ浴後の休息のとり方があまりにも少なくなること、二、サウナによるその時だけの体重減少を過大に評価しきることです。

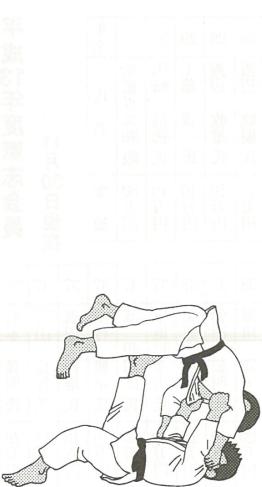
柔道の体重別選手やボクサー、レスラーが、体重の調整に、サウナをどの程度利用できるかという問題は、個々の場合につ

## 準備

明治大学柔道部は一〇〇五年に創部百年を迎える。

会報編集部は予定されている柔道部百年史の発刊にむけ準備懇談会を開いて編纂委員会の設置などについて話し合った。正式には幹事会、総会の承認を経た後、編纂委員会を設けスタートする。

懇談会出席者、小林敏那(33)・松本順吉(36)・前田拓雄(37)・村井正芳(39)・浜本義典(51)・山内鉄生(53)・重松裕之(57)



奨学金委員会より

平素は明柔会奨学金事業に関し、特段の心配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

現状の大学選手権に、化大生に比べ、皆んなが少しづつ成長する。そこで、戦後何回目の黄金時代を迎えた感があり、その環境の中でまさに戦後何回目の黄金時代を迎えた感があります。

これは、監督、助監督、コーチ陣と学生選手の努力は勿論の事、篠志OB各級の絶大なるご支援と、数多くのOBの方々が培つてこられた歴史と伝統があつたればこそと深く感謝申し上げる次第です。

現状の学生柔道界、ひいては日本のアマチュアスポーツ界において競技実力の強化の面で金銭的裏づけが必要な事は申すまでもない事でありますが、この風潮が決して喜ばしいものでない事を感じる

所もあります。皆様に事あるごとに負担をお願いする我々としても、感情と現実の狭間に忸怩たる思いです。

部の指導に当たつてミスリードの無いように努めていく事は幹事会においても常に思想の中心に置いているつもりであります。

事務局便

事務局長 濱本義典(五一年度)



濱本義典(五一年度)

OB各位の深い理解を頂き、お陰さまで事務局の業務を大過なく遂行させて頂いております。感謝申し上げます。

現在、幹事会の報告をその都度地方OB会幹事へ報告する体制を整えつつあります。総会では資料としてご報告しておりますが、紙面の都合上、詳しい幹事会の内容が伝わってはいないと思います。先般の幹事会でも同様なご意見を頂戴いたしました。

現在、幹事会の報告をその都度地方OB会幹事へ報告する体制を整えつております。総会では資料としてご報告しておりますが、紙面の都合上詳しい幹事会の内容が伝わってはいないと思います。先般の幹事会でも同様なご意見を頂戴いたしました。全国のOBの結束をさらに図る意図で、各部の幹事会で可能な限り合意した結果、OB会幹事へ報告する体制を整えつております。

現在、幹事会の報告をその都度地方O B会幹事へ報告する体制を整えています。総会では資料として報告しておりますが、紙面の伝わっては合いません。詳しい幹事会の内容が伝わっては合いません。先般の幹事会でも、同様なご意見を頂戴いたしました。

本日までに事務局で把握している訃報関係は以下のとおりです。

平成12年12月	45年度卒	石井康男様	ご本人
平成13年1月	44年度卒	代田俊氏	ご母堂様
平成13年1月	56年度卒	金子淑夫氏	ご尊父様
平成13年5月	44年度卒	金子淑夫氏	ご尊父様
平成13年7月	51年度卒	濱本義典、敏典両氏	ご尊父様
平成13年7月	42年度卒	小村和紀氏	ご母堂様
平成13年9月	43年度卒	南日和郎氏	ご母堂様
平成13年10月	56年度卒	田原聖也氏	ご尊父様
平成13年10月	29年度卒	今 松夫氏	ご尊父様
平成13年11月	45年度卒	西村良之様	ご本人

謹んでお悔やみ申し上げます。

平成13年度篤志会員

11月  
30日現在

平成13年度篤志会員												年卒	氏名		金額	
												京葉ガス(株)殿	60万円			
37	37	36	36	35	35	34	33	33	33	30	29	29	29	23	山崎 昌徳氏	10万円
小田	杉原	佐々木義宣氏	高田誠之助氏	小田原徳明氏	砂田治男氏	谷藤義明氏	福田二朗氏	伊藤彰朗氏	小林敏邦氏	高田喜之氏	渡辺欣嗣氏	工藤政雄氏	高田欣一氏	10万円		
秀明氏	構氏	高田誠之助氏	高田誠之助氏	10万円												
36	120万円	10万円	60万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	60万円	10万円	10万円	10万円	10万円		
58	53	53	45	44	41	39	39	39	38	38	38	38	37	37	前田 拓雄氏	10万円
千葉	山内	桜田	国安	中島	佐々木充行氏	鳥海又五郎氏	関 坂口	菅谷 岩戸	平岡 康司氏	細川 朝田	栗原 紀明氏	宝地戸幸夫氏	城州司郎氏	田村 興靖氏	石本 義明氏	10万円
宏之氏	鉄生氏	裕氏	教善氏	平人氏	勝治氏	正美氏	正美氏	正美氏	正美氏	隆夫氏	英道氏	英道氏	英道氏	英道氏	15万円	
20万円	10万円	10万円	20万円	36万円	36万円	10万円	15万円	36万円	10万円	36万円	10万円	10万円	10万円	20万円	20万円	
11月30日現在																

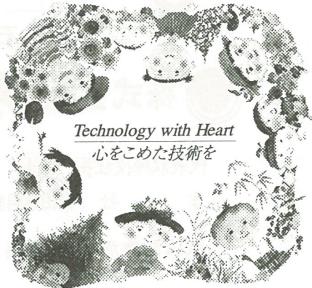
人と自然をつなぐ、  
総合エンジニアリング企業。

太平工業は、建設関連事業、  
機電エンジニアリング関連事業、製鉄関連事業など、  
多岐にわたる技術分野の「総合力」で  
社会貢献をめざす、  
新しいカタチの総合エンジニアリング企業です。  
これからもチャレンジスピリットで、  
みなさまの期待と信頼に応えていきます。



太平工業株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-23-4 1-8リバーサイドビル  
TEL (03) 5543-6000 http://www.taiheikogyo.co.jp



NISL

# 目標は常に無限大

建設用重仮設材  
リース/施工

日商岩井鉄鋼リース株式会社  
〒104 東京都中央区八丁堀2丁目9番1号 TEL 03(5543)2500



## 編集後記

一年ぶりに「明柔」をおどけします。

二〇〇年続いてい

る「明柔」ですが永年守られてきた年

こえきて一回になつております。その理由は簡単で、一にかかる明柔会の財政難故であります。

欠けた部分を昨年から「明柔ニュース」で補っているとはいって、会報に寄せる全国OBの関心が伝つてくるだけに編集部も残念ではあります。

会報の入江君がいつもボヤいているのですが、会費の納入を忘れていたOBがまだ、だいぶいるようです。思いたる方々には編集部からもよろしくお願ひしておきます。

強かつた者にとっても、弱かつた者にとっても明大道場での青春は人生のプラスにこそなれマイナスにはなつていなければです。

神田会長の「所感」や各同期会のコメン

トはその辺りを示唆しているといえます。さて、学生たちが学生柔道復活五〇年の節目を見事に飾つてくれました。まさに「家貧しくして孝子育つ」でありますが、錢がなくても親方がしっかりしているからでもあります。財政豊かな他校を横目で見ながら実は密かに自負しているところです。

良いお年をお迎え下さい

(K)

「明柔」一年一回発行	
平成十三年十一月発行	
編集小林	後
発行人	明治大学体育会柔道部明柔会
発行所	東京都千代田区麹町駿駿河町二一
工事場	明治大学体育科内
印刷所	○三一三九五四四八九
東京都千代田区麹町二一	有限公司 渡辺勝
事務所	○三一三三六二一四六三五
・	○三一三九五七九三二七

## ピッキング被害でお困りの説は是非当店へ!!

# 株式会社 山内機器製作所

代表取締役 山内 鉄生 (S53年度卒)

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町6-20-2  
TEL. 03-3712-0626 FAX. 03-3712-0603

日本力バ社製品製造・精密機械部品製造業



オーケーシャン株式会社

東京：〒111 東京都台東区浅草6-22-13  
TEL 03(875)2851

大阪：〒540 大阪市東区常盤町1-37  
TEL 06(945)0920

広島：〒733 広島市西区大須町13-23  
TEL 0822(91)0092

パリ：パリ市8区 フーブルサントノレ通り9番地  
TEL (265) 2906

おくりつけ  
65年余  
お好みの総合スター  
会社式  
泉屋製菓総本舗  
名古屋

泉屋の  
アーモンド魚

「33年度卒 伊藤彰朗」



イトーキ・リコー代理店

株式会社 町山事務機

代表取締役 町山 良行

〒214-0031 川崎市多摩区東生田1-13-1

TEL. 044-933-3311 FAX. 044-933-3518

共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売

株式会社 男鹿興業社

代表取締役社長 国 安 均

本 社 秋田県男鹿市船川港船川字埋立地1-18-2  
TEL (0185) 23-3293(代)

秋田営業所 秋田県秋田市檜山川口境13-7  
TEL (0188) 35-3362



男鹿なまはげ給油所	男鹿市船川港船川字化世沢178	(0185) 24-3292
鹿渡なまはげ給油所	山本郡琴丘町鹿渡字西小瀬川69	(0185) 87-2316
千秋なまはげ給油所	秋田市千秋矢留町2-43	(0188) 34-1736
牛島なまはげ給油所	秋田市仁井田栄町1-31	(0188) 39-2316
広面なまはげスト-ショ	秋田市広面字谷地沖22-11	(0188) 32-7633



ステーキ & シーフード「バンフ」  
秋田市山王1丁目6-7 / 淀ビル2F (0188) 62-7800

真心サービスで社員一同  
心からお待ちしております。

# 広告募集!!

会報「明柔」は郵便料金の値上げにともなう財源確保のため、新企画の個人広告を掲載することとした。よろしく御協力の程を！

写真は個人または家族と一緒にるもの

料金 1万円 (担当編集部 浜本義典)

紳士・婦人・子供  
各 種

## 帽子のミヤシタ

(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9  
新小岩銀座アーケード街  
電話 (3651) 0691

## 小藤田整骨院

院長 小 藤 田 勝 彦  
(S 40年度卒)  
東京都板橋区弥生町38-7  
T E L 03-3972-0055

日本石油株式会社  
ブリヂストンタイヤ  
ヨコハマタイヤ

大成火災海上保険代理店  
**松岡商事株式会社**

代表取締役 松 岡 義 隆

本社 熊本県八代市高下西町1827  
電話 0965-33-2181~2182

送電線路建設工事設計施工

## 高田電設株式会社



取締役社長 高田 喜之  
(昭和30年度卒)

本社 東京都新宿区大久保1-10-4  
電話 03 (3209) 8241 (代表)  
支社・出張所 仙台・名古屋・札幌

## 新和商事株式会社

海老・ふぐ・鮮魚他水産物卸

本社 埼玉県春日都市小渕243  
TEL 0489-61-3980

支店 埼玉県越谷市流通団地3-2-1  
TEL 0489-85-2084

代表取締役  
社長 千葉 進三

58年卒 千葉 宏之  
63年卒 木間 一義

## 海産物問屋

ししゃも製造卸



ちりめん  
煮干  
塩乾魚 **KKヤマサキ**  
代表取締役 山崎昌徳 S 24商卒  
宇和島市中沢町1丁目2 電話(0895)25-1616㈹

## ビルメンテナンス (株)リュービ

代表取締役 岩戸 正美  
(S38年度卒)

〒181-0011 東京都三鷹市井口2-4-13  
TEL. 0422-56-0555

## 給食用食品卸

## (株)富士産業

代表取締役 谷藤 義明  
(S34年度卒)

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町44-11 TEL. 03-3956-9615

わたしたち明和地所は、考えます。



踏み出しました。  
いま新しい歩き  
来るべく21世紀に向け  
トータルな総合生活文化産業をめざし

「クリオ」マンショングリーデスを核として  
マーケット志向のビジョンに基づき、

次世代へのテーマと考へます。

人々が豊かに暮らす、  
交流する空間。

そんな「生活空間の創造」を

わたしたち明和地所は、

# CK 第一企業中央 株式会社

系列会社

第一企業管財株式会社  
箱崎興産株式会社

代表取締役 細川 隆夫  
(S38年度卒)

## ビル総合管理

清掃、警備、電気、機械  
その他ビル管理一式

〒150-0013 東京都港区浜松町2丁目3番25号  
マスキンビル7F

電話 03-3578-8123(代)

**MEIWA 明和地所**

本社 / 〒150-8555 東京都港区浜松町9-6 明和地所浜松町ビル TEL.03(5489)0111(代表)  
横浜支店 / 〒220-0004 横浜市西区北幸1-1 横浜アーバンビル20階 TEL.045(319)0111(代表)  
西京區店 / 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町2-4-14 メゾンブリーズ8-4階 TEL.042(250)0111(代表)  
札幌支店 / 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2-1 札幌時計台ビル4階 TEL.011(263)0120(代表)

関連会社／明和総合商事株式会社／明和管理株式会社／明和ファイナンス株式会社



MEIJI UNV. JUDO CLUB  
PERIODICALS